

平成 28 年度

# 農 作 業 事 故 報 告 書

平成 29 年 8 月



北海道農作業安全運動推進本部

## は　し　が　き

北海道農作業安全運動推進本部では、北海道農作業事故報告取扱要領(昭和52年8月3日付け畠作第500号農務部長通達)に基づき、関係機関・団体の協力をいただきながら、平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）農作業事故調査結果を取りまとめました。

平成28年度の農作業事故総件数は2,207件で、このうち負傷事故は、前年よりも32件増加して2,195件、また、死亡事故については、前年よりも6件減少し、12件と平成20年度以来の水準となりました。

北海道における農作業事故件数は、平成25年度以来、ほぼ減少傾向にはありますが、農業就業人口（2015年農林業センサス）の大幅な減少を勘案すると、事故発生率が高まる傾向が依然として続いており、なかでも死亡・負傷とも60歳代以上の年齢層で多発する傾向となっています。

死亡事故12件のうち、トラクターや作業機及びトラックによる事故が10件（全体の83.3%）を占めており、農業機械等に起因する死亡事故者数は、依然として高い水準で推移しています。

一方、負傷事故では牛・馬・豚などの家畜による事故が836件（38.1%）で最も多く、次いで農業機械による事故が690件（31.4%）と、家畜による事故が、農業機械による事故を依然として大幅に上回っている状況です。

当本部は、これまで道をはじめ市町村・JA、各地区推進本部と連携し、農作業事故ゼロ運動の推進と事故防止に積極的に取り組んでおりますが、農作業事故を減少させ、事故ゼロを目指していくためには、農業者自身の安全意識の自己啓発や機械利用技術の向上、健康管理等が不可欠です。また家族・地域ぐるみで農作業安全運動に取り組んでいくことも極めて重要です。

当本部では、これまで道路走行中のトラクター等の追突事故を防止するため、交通ルールと運転マナーを遵守し、低速車マークや反射板の装着を推進する他、農業労災保険と傷害共済・自動車共済等任意保険への加入を働きかける農作業安全『M、M、H』運動を進めてきました。今後も引き続き、『M、M、H』運動を推進し、トラクター等の交通事故防止に努めることとしています。

農作業事故ゼロに向けては、今後とも、関係機関が一丸となって更なる努力をしていくことが大切なことは言うまでもありません。

この報告書が、農作業事故防止のために有効に活用され、快適で安全・安心な農作業が行われる一助となることを願っています。

平成29年8月

北海道農作業安全運動推進本部  
本部長 柴田倫宏

# 目 次

## は し が き

I 調査方法	3
II 農作業事故報告取扱要領	3
III 調査結果の概要	9
1. 総括	9
2. 性別	10
3. 年齢	11
4. 時期	15
5. 発生場所	17
6. 発生時間帯	19
7. 事故の対象物件等	24
8. 事故の部位	30
9. 負傷の内容	32
10. 負傷の程度	34
11. トラクター事故の原因別状況	34
12. 農業就業人口（2015年農林業センサス）からみた農作業事故	37
IV 地区別農作業事故発生状況	39
V 市町村別農作業事故発生状況	61
VI 参考資料	69
1. 平成28年度農作業事故発生状況（死亡）	71
2. 平成28年度NHKラジオ放送用原稿（お知らせ版）	73

I	調査方法	3
II	農作業事故報告取扱要領	3
III	調査結果の概要	9



## I 調査方法

当本部が実施している調査は、北海道の「農作業事故報告取扱要領」により次の通り行っています。

- ① 市町村→総合振興局・振興局→農政部への報告書のうち（別記第1号様式）を調査票としています。
- ② 本部が関係団体の協力を得て、農作業事故関係分を選別して調査票（別記第1号様式）を記入作成しています。
- ③ ①、②を克明につき合せを行い重複しているものは片方をカットしています。

以上が事故調査の個票の基本となっていますが、問題点として次のような事項が残されていることについて了知願います。

1. 事故が軽微で届出がない場合はこの統計にのらない。
2. 農業協同組合共済に未加入の場合で、市町村の事故掌握からも洩れた場合は、この統計にのらない。
3. 農業協同組合共済の事故票は、農作業事故の実態把握を目的としたものではないため詳細な事故原因、分析等が困難な場合、調査者の判断で判定する要素がある。

更に地域別の事故捕捉率や事故発生頻度と安全運動の成果等について必ずしも明確でない面もある。

以上が事故報告にあたっての調査方法と、その制約的事項ですが、本書の利用にあたってはこれらの点について配慮願います。

## II 農作業事故報告取扱要領

昭和52年8月3日
畑作第500号農務部長通達
昭和61年8月20日一部改正
昭和63年5月20日一部改正
平成元年5月17日一部改正
平成18年6月1日一部改正
平成20年3月4日一部改正
平成22年7月27日一部改正
平成22年7月27日一部改正
平成24年3月28日一部改正

### 1. 目的

最近における農業技術の進歩や農業機械の多様化、高度化に伴って、農業機械等による事故が多発し、その内容も複雑化、重度化しているため、実態を迅速かつ的確に把握し、今後の農作業事故防止対策の基礎資料とする。

## 2. 報告の種類

事故発生状況の報告は、次の2種類とする。

- (1) 死亡事故報告
- (2) 負傷事故報告

## 3. 農作業事故の定義

本調査で農作業事故とは、すべての農作業中に発生した事故及び農作業中でない場合であっても農業機械によって負傷または死亡した事故（以下「農作業事故」という。）とする。

## 4. 調査の対象

- (1) 死亡  
農作業事故による傷害の結果、生命を失った者。
- (2) 負傷  
農作業事故による負傷の結果、入院もしくは通院を伴う治療を受けた者。

## 5. 報告要領

事故の報告については、次の手順に従い報告するものとする。

### (1) 死亡事故報告

市町村は、当該事故が発生したときは、農業協同組合等の協力を得て速やかに事故状況を把握し、別記第1号様式により、発生の都度、総合振興局・振興局に報告し、総合振興局・振興局は農政部に報告するものとする。なお、市町村においては、定期的に戸籍の死亡届の閲覧確認を行うなど、報告もれがないように配慮すること。

### (2) 負傷事故報告

市町村は、当該事故の発生状況を、農業協同組合等の協力を得て的確に把握し、下表に定める期間ごとに、別記第1号様式に別記第2号様式を添付して、総合振興局・振興局に報告し、総合振興局・振興局は市町村の事故報告を取りまとめ農政部に報告するものとする。

なお、市町村においては、農業協同組合共済関係部署に確認するなど、報告もれがないよう配慮すること。

報告期間及び報告期限は下表のとおり。

報告期間	市町村から総合振興局・振興局に報告する期限	総合振興局・振興局から農政部に報告する期限
4月～9月	10月10日	10月15日
10月～3月	4月10日	4月15日

## 調査報告上の留意事項

### 1. 報告対象

- (1) 農作業中に発生した事故は、調査対象者を農業従事者（農業常雇及び農業臨時雇を含む）とし、  
例えば次に類するような事故とする。
- ア 農作業中における農業機械による事故
  - イ 農作業中における牛、馬等による事故
  - ウ 農作業中における農薬、有害ガス等による中毒事故
  - エ 乾燥作業中における火傷事故
- (注) 農作業とは、農業生産活動に伴う一切の作業で、生産資材の調達や運搬、農業機械等の修理、  
整備、市場までの出荷に伴う作業（ライスセンター、カントリーエレベーターの調整や選果場  
での選果等）等を含む。
- (2) 農作業以外で農業機械による事故は、全ての人を対象とし、例えば次に類するような事故とする。
- ア 農業機械による事故で小児の事故も含む
  - イ トラクター等での除雪作業等の事故

### 2. 報告対象外

- (1) 農薬の誤飲による事故
- (2) 乗用車等による人夫等の送り迎え中の交通事故
- (3) 圃場整備等ブルドーザーによる土木工事中による事故
- (4) 山林の草刈り作業中の事故
- (5) 農業以外で農業機械を使用せずに用水、溜池等に転落した事故
- (6) その他(1)～(5)に類するような事故

(別記第1号様式)

( 表 面 )

農 作 業 事 故 調 査 票

総合振興局・振興局		番号		生年月日	M T S H 年 月 日	* 調査No			
市町村名						* コード			
農業協同組合名						* コード			
性別	1男 2女								
年齢						満			才
発生日	平成 年 月 日								
発生時刻	時 分頃 (注: 24時間法) 不明は9999								
取得免許	1原付 2自動二輪 3普通 4大型一種 5小型特殊 6大型特殊 7牽引 8無 9不明								
事故	01水田 02畑 03牧草地 04農道 05公道 06道路取付口 07自宅 08敷地内 09山林 10畜舎 11サイロ								
発生現場	12乾燥収納舎 13納屋 14農業機械格納庫 15ハウス 16用水路 17堆肥場 18不明 19その他( )								
傷害名称	01切断 02裂傷 03切傷 04骨折 05打撲 06挫傷 07挫損 08失明 09捻挫 10アキレス腱切断 11麻痺 12流産								
(診断名)	13火傷 14目角膜傷 15脱臼 16刺傷 17手指切断 18足指切断 19筋切断 20不明 21その他( )								
死亡負傷	1死亡 2負傷								
	負傷の場合	入院日数	(日数不明の場合は999) ※通院の場合は000と表記する						
通院日数	( " )								
事故部位	01頭(顔) 02目 03耳 04首 05左腕 06左手 07右腕 08右手 09手指 10左足 11右足 12足指 13肩 14胸 15腹 16腰 17背 18臀(尻) 19肋骨 20全身 21不明 22その他( )								
トラクタ	01トラクタ 銘柄( ) 型式( ) 年式( ) PS( )								
動力	02電動機(モータ) 03発動機(エンジン) 08耕うん機 09テーラ 64農用ブルドーザ								
耕耘整地	04プラウ 05サブソイラ・心土破碎機 06ディスクハロ(パワーディスク) 07ロータリ 19代かき機 23鎮圧機(ローラ) 24均平機(スプリングハロ)								
施肥・播種	10コーンプランタ 11ビーンプランタ 12ピートプランタ 13ポテトプランタ 14ドリル 15マニアスプレッタ 16スラリスプレッタ(尿散布機) 17ブロードカスター 18ライムソワー 20田植機 21ピート移植機 22玉ネギ移植機								
管理・防除	25カルチベータ 26培土機 27スプレーヤ 28動力噴霧器 29動力散粉機 30人力(背負)防除機 72刈払機								
事故対象	稻作	31バインダ 32自脱型コンバイン							
	畑作	33普通型コンバイン 34ビーンハーベスター 35ピートハーベスター(ピートタッパ) 36ボテトハーベスター(ボテトディガ) 37玉ネギハーベスター 66スイトコーンハーベスター 75野菜掘取機							
	飼料作	38レシプロ型モア 39ディスクモア 40モアコンディショナ 41ロータリ型レーキ・テッダ 42その他のレーキテッダ 43グラスチョッパー 44コンバクトベーラ 45ロールベーラ 47コーンハーベスター 48フォーレージハーベスター							
物件	運搬・処理	46ベルローダ 49ヘーエレベータ 50フォーレージプロア 51吹上カッタ 52ダンプトラック(トラックは62) 53トレーラー 54ダンプトレーラー 55ロードワゴン 56ピックアップワゴン 57ショベルローダー・ファーカリフト 58一輪車 59二輪車 60フロントローダー 61バックレー 62トラック 63ローリー類 68サイレージ用ディストリビュータ 69サイレージ用アンローダ							
	調製	65スレッシャ 67脱穀機(自脱) 70もみすり機 71乾燥機 76野菜洗浄機 77米ほか選別機							
	その他機械	73自動穴堀機 74溝堀機(レンチャ) 78除雪機 79チェンソー 80その他( )							
家畜・農業	81牛 82馬 83豚 87農薬中毒(種類:殺虫・殺菌・除草) 88農薬不明								
小農具	89鎌 90鋤 91小農具その他( ) 92小農具不明								
その他	84高所転落(機械名・施設名 高さ m) 85人の転倒 86蜂 93その他( ) 94不明								
労災加入状況	01特定農作業従事者 02中小事業主等 03指定農業機械作業従事者 09無 10不明								
農協共済加入状況	1加入有 2加入無 3不明								
事故対策研修会参加状況	1有 2無 3不明								
安全フレーム装着状況	1二柱式 2四柱式 3安全キャビン 4無 5不明								
トラクタによる事故の原因別状況	転倒・転落	衣類がからむ	物を落とす・挟む	機械より落下	人の転倒	整備中	その他		
	11田 12畑 13牧草地 14道路・農道	21PTO部 22作業装置 23その他	31整備着脱時 32動力伝達部 33その他	41乗降時 43作業中	51作業中 52整備中	61油圧関係 62機械関係 63工具関係	70同乗同作業者 80交通事故 91作業機独自 92その他		
				記載者 (所属)	(氏名)				

\* 印は記載不要

( 裏面 )

機械に 関する 情 報	機 械 の 種 類		メー カー 名	
	製品名・型式名		製 造 年	
	検査・鑑定の有無	型式検査合格機 安全鑑定適合機		
	整備・点検実績	該当なし 不明		

発 生 原 因 ・ 状 況 等	

事故状況図（詳細）



※事故の発生状況を記載すること。

## 農作業事故発生状況(負傷)

(総合振興局・振興局名 )

市町村名	農協名	事 故 者 番号	発 生 性別	発 生 月 日	発 生 時 刻	農 作 業 名	使 用 機 械 設 施	取 得 免 許 種 類	傷 害 部 位	傷 害 部 位	農 業 研 修 受 講 の 有 無	勞 災 保 险 共 济 の 有 無	こ の 期 間 中 に 市 町 村 (総合振興局・振興局) が 行 つた 安 全 対 策 の 指 導 内 容

※事故者の番号は、市町村毎に連番とする。

### III 調査結果の概要

#### 1. 総括………死亡は減少し、負傷は微増

##### (1) 全体で前年比101.2%

平成28年度は、死亡、負傷合せて2,207件となった。前年度の2,181件より26件の増加となった。

##### (2) 死亡、減少（前年比66.7%）

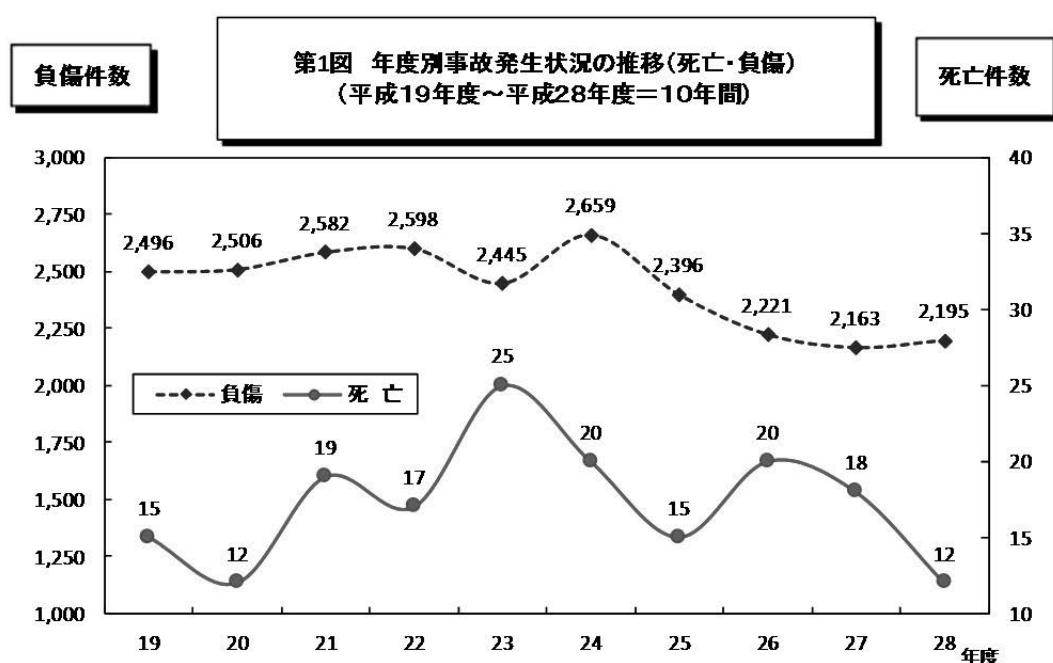
死亡は12件で、前年度の18件より6件減少した。

##### (3) 負傷、微増（前年比101.5%）

負傷は2,195件で、前年度の2,163件より32件増加した。

第1表 年度別事故発生状況（過去10年間）

年度\区別	死 亡			負 傷			合 計	対前年比 %
	男	女	計	男	女	計		
19	14	1	15	1,660	836	2,496	2,511	99.9%
20	8	4	12	1,653	853	2,506	2,518	100.3%
21	16	3	19	1,756	826	2,582	2,601	103.3%
22	12	5	17	1,796	802	2,598	2,615	100.5%
23	18	7	25	1,670	775	2,445	2,470	94.5%
24	18	2	20	1,770	889	2,659	2,679	108.5%
25	12	3	15	1,635	761	2,396	2,411	90.0%
26	16	4	20	1,490	731	2,221	2,241	92.9%
27	14	4	18	1,409	754	2,163	2,181	97.3%
28	11	1	12	1,459	736	2,195	2,207	101.2%
計	139	34	173	16,298	7,963	24,261	24,434	—



## 2. 性 別……男性66.6%、女性33.4%の割合

### (1) 農業就業者の45.6%が女性

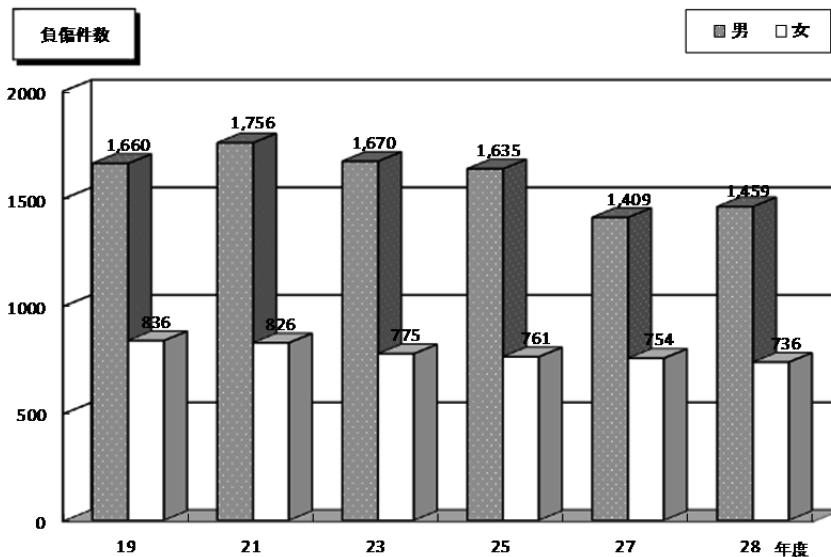
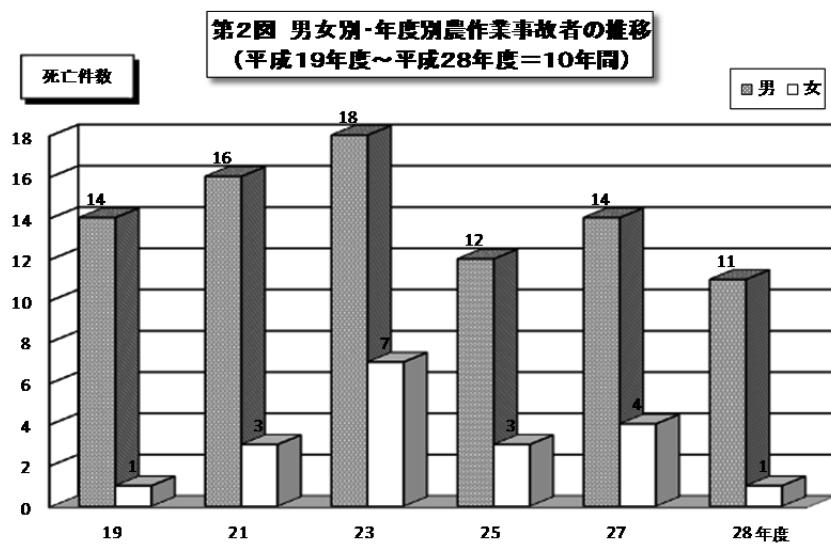
農林水産省「2015年農林業センサス」(平成27.2.1) によると、本道の農業就業人口は、96,557人となっている。

そのうち男女別では、男性が52,509人（54.4%）、女性44,048人（45.6%）で、農業就業人口がほぼ同数となっている。

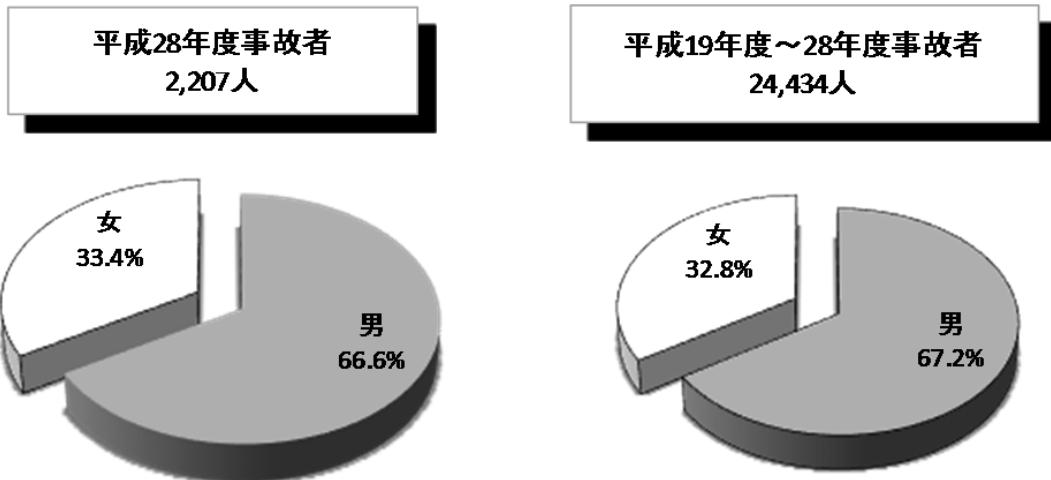
### (2) 男・女の事故の割合は男性が66.6%、女性が33.4%

平成28年度の男女別の事故発生件数は、男性が1,470件、女性が737件となっている。

そのうち男女別では、男性が前年度の1,423件より47件増加している。また、女性は前年度の758件より21件減少している。



第3図 農作業事故者の男女の割合



### 3. 年齢…………高齢者（60歳以上）の死亡67.1%、負傷34.2%

#### (1) 農業就業人口、60歳以上トップ

農林水産省「農林業センサス」による農業就業者の年齢別構成割合の5年間の推移をみると、平成22年の就業者は111,324人で、そのうち60歳以上は51,635人（46.4%）、30歳未満は7,778人（7.0%）となっている。

平成27年センサスでは96,557人で、そのうち60歳以上は48,374人（50.1%）、30歳未満は6,289人（6.5%）となっている。

#### (2) 死亡、60歳以上トップ

第2表のとおり、過去10年間の死亡173件のうち、60歳以上116件（67.1%）で最も多く、次いで50歳代32件（18.5%）、40歳代12件（6.9%）の順となっている。

平成28年度では、死亡12件のうち、60歳以上が11件（91.7%）で9割以上を占め、その内70歳以上が8件（72.7%）となっている。

#### (3) 負傷、60歳以上トップ

第3表のとおり、過去10年間の負傷24,261件のうち、60歳以上8,296件（34.2%）で最も多く、次いで50歳代5,980件（24.6%）となっている。

平成28年度では、負傷2,195件のうち、60歳以上が808件（36.8%）で最も多く、次いで50歳代447件（20.3%）の順となっている。

第3表付①のとおり、年代別負傷者の構成比率の推移をみると、60歳以上が毎年トップとなっている。

#### (4) 女性、50歳代トップ

第3表付②のとおり、事故に占める女性の割合は、過去10年間のトータルでは、50歳代（40.0%）、60歳以上（34.8%）、40歳代（34.1%）の順位となっている。

平成28年度では、トップが50歳代（40.9%）で、次いで60歳以上、40歳代となっている。

第2表 年齢別、性別事故発生状況（死亡）

区分 年代	19			20			21			22		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10歳未満												
10歳代												
20歳代												
30歳代	1		1				2		2	1		1
40歳代	1		1	2	2	4				1		1
50歳代	4	1	5				6	1	7	3	1	4
60歳以上	8		8	6	2	8	8	2	10	8	3	11
計	14	1	15	8	4	12	16	3	19	12	5	17

区分 年代	23			24			25			26		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10歳未満				1		1						
10歳代										1		1
20歳代	1		1				1		1			
30歳代				1		1				1		1
40歳代	1	2	3				1	1	1	2		1
50歳代	6		6	2		2	1		1	3		3
60歳以上	10	5	15	14	2	16	8	2	10	12	2	14
計	18	7	25	18	2	20	12	3	15	16	4	20

区分 年代	27			28			計			% %
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
10歳未満							1		1	0.6
10歳代							1		1	0.6
20歳代							2		2	1.2
30歳代	2		2				8	1	9	5.2
40歳代							5	7	12	6.9
50歳代	3		3	1		1	29	3	32	18.5
60歳以上	9	4	13	10	1	11	93	23	116	67.1
計	14	4	18	11	1	12	139	34	173	100.0

第3表 年齢別、性別事故発生状況（負傷）

年代 区分	19			20			21			22		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10歳未満				2		2						
10歳代	14	8	22	7	7	14	18	1	19	17	3	20
20歳代	215	50	265	232	40	272	230	59	289	226	47	273
30歳代	235	66	301	223	75	298	268	77	345	294	76	370
40歳代	293	162	455	265	158	423	280	133	413	265	107	372
50歳代	418	273	691	428	290	718	403	285	688	391	259	650
60歳以上	485	277	762	496	283	779	557	271	828	603	310	913
計	1,660	836	2,496	1,653	853	2,506	1,756	826	2,582	1,796	802	2,598

年代 区分	23			24			25			26		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10歳未満	3		3	1		1	1	1	2	1		1
10歳代	9	3	12	16	9	25	14	5	19	11	8	19
20歳代	217	50	267	212	65	277	193	61	254	146	44	190
30歳代	294	68	362	301	99	400	286	87	373	273	69	342
40歳代	245	134	379	245	129	374	227	111	338	225	121	346
50歳代	354	229	583	396	256	652	351	211	562	291	184	475
60歳以上	548	291	839	599	331	930	563	285	848	544	304	848
計	1,670	775	2,445	1,770	889	2,659	1,635	761	2,396	1,490	731	2,221

年代 区分	27			28			計			%
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
10歳未満	1		1	1		1	9	2	11	0.0
10歳代	13	7	20	10	5	15	129	56	185	0.8
20歳代	136	57	193	159	65	224	1,966	538	2,504	10.3
30歳代	268	75	343	239	92	331	2,681	784	3,465	14.3
40歳代	223	128	351	251	118	369	2,519	1,301	3,820	15.7
50歳代	291	223	514	264	183	447	3,587	2,393	5,980	24.6
60歳以上	477	264	741	535	273	808	5,407	2,889	8,296	34.2
計	1,409	754	2,163	1,459	736	2,195	16,298	7,963	24,261	100.0

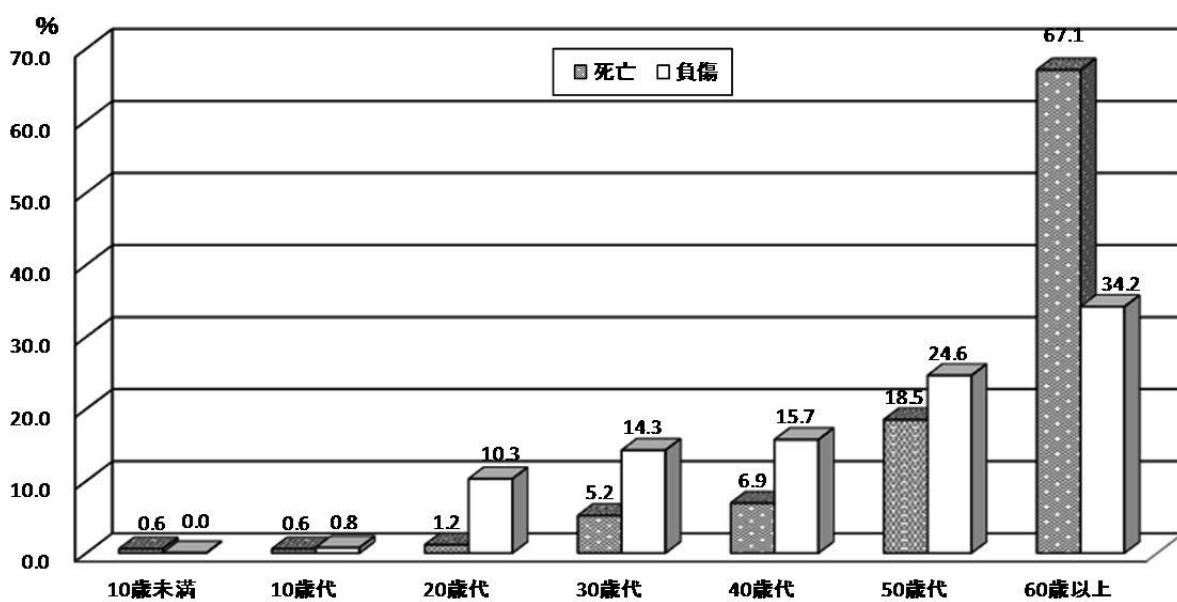
第3表付① 年代別負傷者の構成比率

年度 年代	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	10年間計
10歳未満	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	-	0.0
10歳代	0.8	0.5	0.7	0.7	0.4	0.9	0.7	0.8	0.9	0.9	0.7
20歳代	10.6	10.8	11.1	10.5	10.9	10.4	10.6	8.5	8.9	10.4	10.3
30歳代	12.0	11.8	13.3	14.2	14.8	15.0	15.5	15.3	15.8	15.0	14.2
40歳代	18.2	16.8	15.9	14.3	15.5	14.0	14.1	15.5	16.2	14.0	15.7
50歳代	27.6	28.6	26.6	25.0	23.8	24.5	23.4	21.3	23.7	24.5	24.6
60歳以上	30.5	31.0	32.0	35.1	34.3	34.9	35.3	38.1	34.2	34.9	34.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

第3表付② 年代別負傷事故に占める女性の割合

年度 年代	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	10年間計
10歳未満	-	-	-	-	-	-	50.0	100.0	-	-	18.2
10歳代	36.3	50.0	-	15.0	25.0	36.0	26.3	42.1	35.0	33.3	30.3
20歳代	18.8	14.7	20.4	17.2	18.7	23.4	24.0	23.1	29.5	29.0	21.5
30歳代	21.9	25.1	22.3	20.5	18.7	24.7	23.3	20.1	21.8	27.7	22.6
40歳代	35.6	37.3	32.2	28.7	35.3	34.4	32.8	34.9	36.4	31.9	34.1
50歳代	39.5	40.3	41.4	39.8	39.2	39.2	37.5	38.7	43.3	40.9	40.0
60歳以上	36.3	36.3	32.7	33.9	34.6	35.5	33.6	35.8	35.6	33.7	34.8
計	33.4	34.0	31.9	30.8	31.6	33.4	31.7	32.9	34.8	33.5	32.8

第4図 年代別事故発生状況の比較  
(平成19年度～平成28年度=10年間)



#### 4. 時期……死、負傷とも秋の収穫期に多発

##### (1) 死亡は夏から秋の収穫期にかけて多発

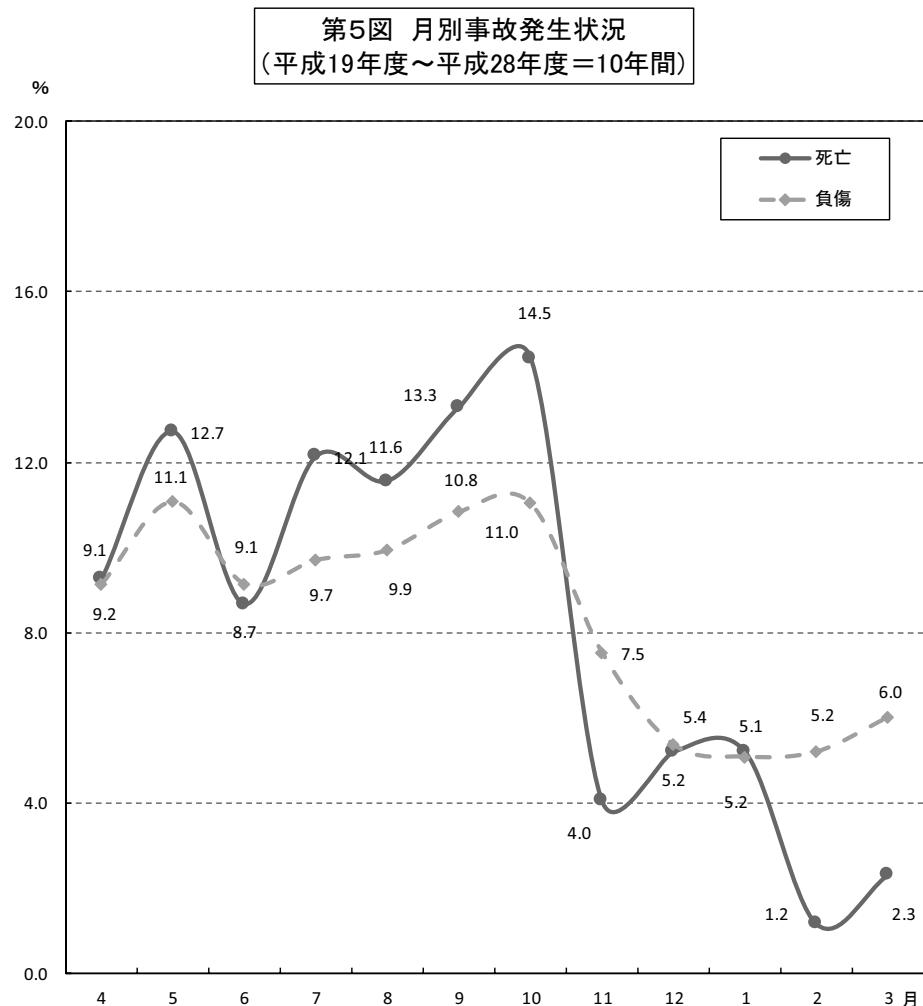
第4表のとおり過去10年間のトータルでは10月が25件(14.5%)で最も多く、次いで9月23件(13.3%)、5月22件(12.7%)、7月21件(12.1%)、8月20件(11.6%)の順となっている。

平成28年度は4月・7月・8月・9月が各2件(16.7%)で最も多く、6月・10月・1月・3月が各1件(8.3%)となっている。

##### (2) 負傷は秋の収穫期と春に多発

第5表のとおり、過去10年間のトータルでは5月が2,686件(11.1%)で最も多く、10月が2,676件(11.0%)、次いで9月2,628件(10.8%)の順となっている。

平成28年度では10月が264件(12.0%)で最も多く、次いで5月が249件(11.3%)、7月が229件(10.4%)、9月が217件(9.9%)、4月が202件(9.2%)の順となっている。



第4表 月別事故発生状況（死亡）

年度 月	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	計	%
4	2		4	2	1		1	2	2	2	16	9.2
5	4		1	2	6	2	2	3	2		22	12.7
6	2	1			1	3	4	3		1	15	8.7
7		2	3	2	5	2	3	1	1	2	21	12.1
8		3	1	3	4		2	1	4	2	20	11.6
9		2	4	5	1	4	1	3	1	2	23	13.3
10	6	2	2	2	5	1	1	1	4	1	25	14.5
11			1		1	1		2	2		7	4.0
12		1	1			3	1	3			9	5.2
1	1	1	1	1		2		1	1	1	9	5.2
2					1				1		2	1.2
3			1			2				1	4	2.3
計	15	12	19	17	25	20	15	20	18	12	173	100.0

第5表 月別事故発生状況（負傷）

年度 月	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	計	%
4	218	254	238	236	190	235	250	185	207	202	2,215	9.1
5	258	261	277	286	287	315	301	196	256	249	2,686	11.1
6	241	216	207	258	223	240	245	209	192	187	2,218	9.1
7	264	252	232	248	268	243	237	197	183	229	2,353	9.7
8	263	272	271	278	246	240	210	209	222	199	2,410	9.9
9	287	349	296	323	227	226	254	255	194	217	2,628	10.8
10	262	258	318	276	278	285	243	238	254	264	2,676	11.0
11	198	173	218	170	172	222	182	174	166	151	1,826	7.5
12	119	119	140	129	131	170	117	132	122	122	1,301	5.4
1	130	105	118	139	136	141	106	126	112	118	1,231	5.1
2	125	123	121	105	152	158	111	134	112	120	1,261	5.2
3	131	124	146	150	135	184	140	166	143	137	1,456	6.0
計	2,496	2,506	2,582	2,598	2,445	2,659	2,396	2,221	2,163	2,195	24,261	100.0

## 5. 発生場所………死亡は圃場、敷地内と道路、負傷は畜舎、圃場と敷地内

### (1) 死亡は圃場（水田・畑・牧草地）、敷地内と道路（農道・公道・道路取付口）で65.8%

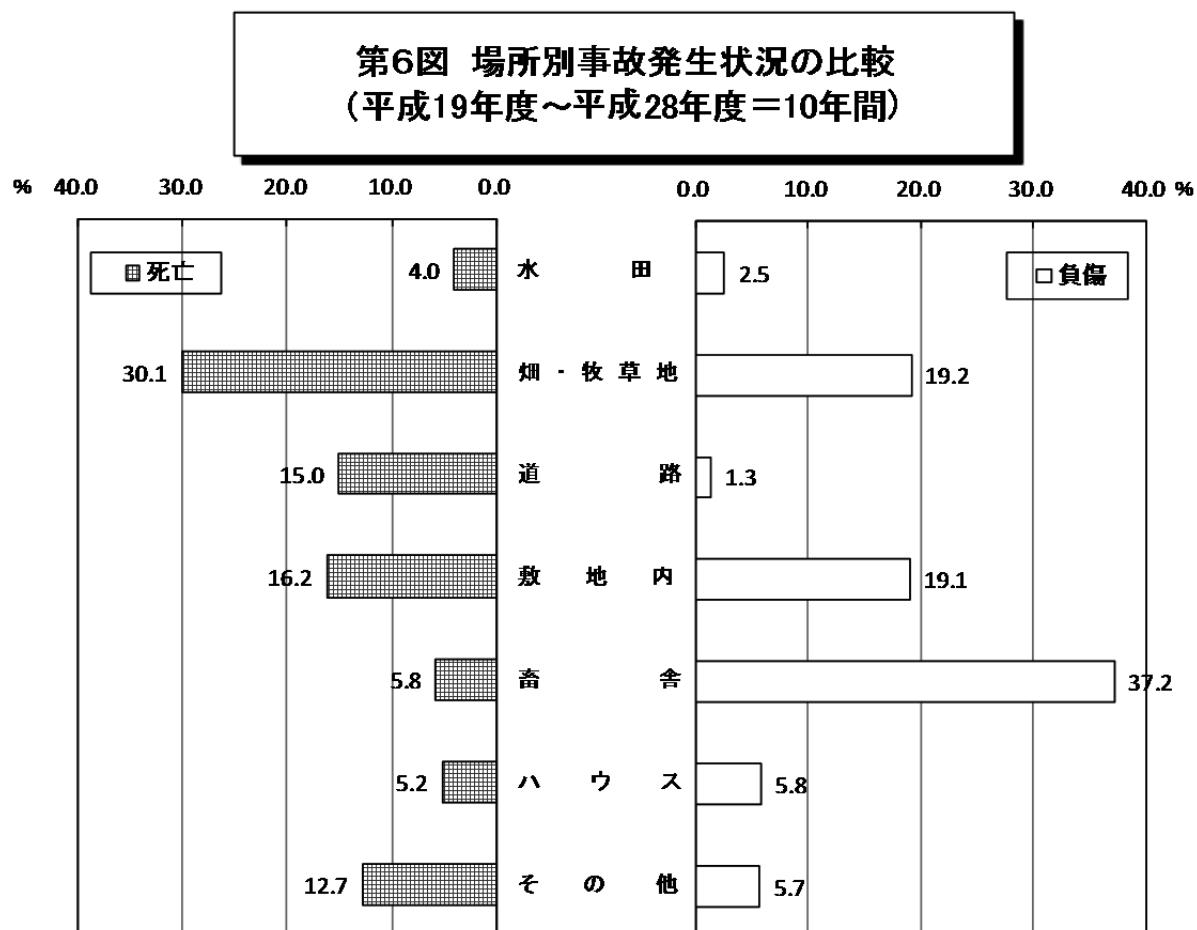
第6表のとおり過去10年間のトータルでは死亡事故173件のうち、水田・畑・牧草地などの圃場が59件（34.0%）、敷地内が28件（16.2%）、農道・公道・道路取付口などの道路が27件（15.6%）、で全体の65.8%を占めている。

平成28年度では12件のうち圃場が4件（33.3%）、道路が2件（16.6%）、敷地内が1件（8.3%）の他、ハウスが2件（16.7%）で全体の74.9%を占めている。

### (2) 負傷は、畜舎、圃場（水田・畑・牧草地）と敷地内で78.0%

第7表のとおり過去10年間のトータルでは、負傷事故24,261件のうち畜舎が9,036件（37.2%）で最も多く、次いで圃場（水田・畑・牧草地）が5,267件（21.7%）、敷地内が4,624件（19.1%）となっている。

平成28年度では2,195件のうち畜舎957件（43.6%）で最も多く、次いで圃場が426件（19.4%）、敷地内が374件（17.0%）となっている。





## 6. 発生時間帯…………危険時間帯は、午後2時～午後4時台と午前10時～午前12時台

### (1) 死亡は、午後14時～15時台と午前10時～12時台

第8－1表のとおり10年間のトータルでは173件のうち14時が19件(11.0%)、15時が17件(9.8%)で最多発生時間となっており、次いで10時の15件(8.7%)、12時の14件(8.1%)となっている。

平成28年度では12件のうち14時が2件(16.6%)で最多発生時間となっており、7時・9時・10時・11時・19時・21時でそれぞれ各1件(8.3%)ずつ発生している。

第8－1表 時刻別事故発生状況（死亡）

年度 時刻	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計	%
0												
1												
2												
3												
4											2	1.2
5	1										1	0.6
6				1	1	1	1	1			5	2.9
7	1	1		2	2		1	2	1	1	7	4.0
8						1	2	2	1		10	5.8
9	1			3	3	1	1		1	1	11	6.4
10				5	1		3	3	2	1	15	8.7
11	1			2	3					1	7	4.0
12	1	2			4	4	1	2			14	8.1
13	2	1	2		1	1		1	1		9	5.2
14	2	1	3	2	2	1	1	1	5	2	19	11.0
15	1	2	2	3	2	1	1	3	2		17	9.8
16		1	3	2	1		2	2	2		13	7.5
17	2		2		1	1	1		2		9	5.2
18	1	1	1		1	2	1				7	4.0
19	1	2		1	1					1	6	3.5
20	2								1		3	1.7
21								1		1	2	1.2
22				1							1	0.6
23												
不明	1				4	5			1	4	15	8.7
合計	15	12	19	17	25	20	15	20	18	12	173	100.0

(2) 負傷は、午前の10時・11時台と午後の3時・4時台に多発

第8-2表のとおり、10年間のトータルでは、10時が2,874件（11.8%）で最多発生時間、次いで11時の2,468件（10.2%）、16時の2,223件（9.2%）、15時の2,091件（8.6%）となっている。

平成28年度では、10時が209件（9.5%）で最多発生時間、次いで16時が205件（9.3%）、11時が195件（8.9%）となっている。

第9表のとおり、男女別発生状況では、男女とも10時～11時、15時～17時が多くなっている。

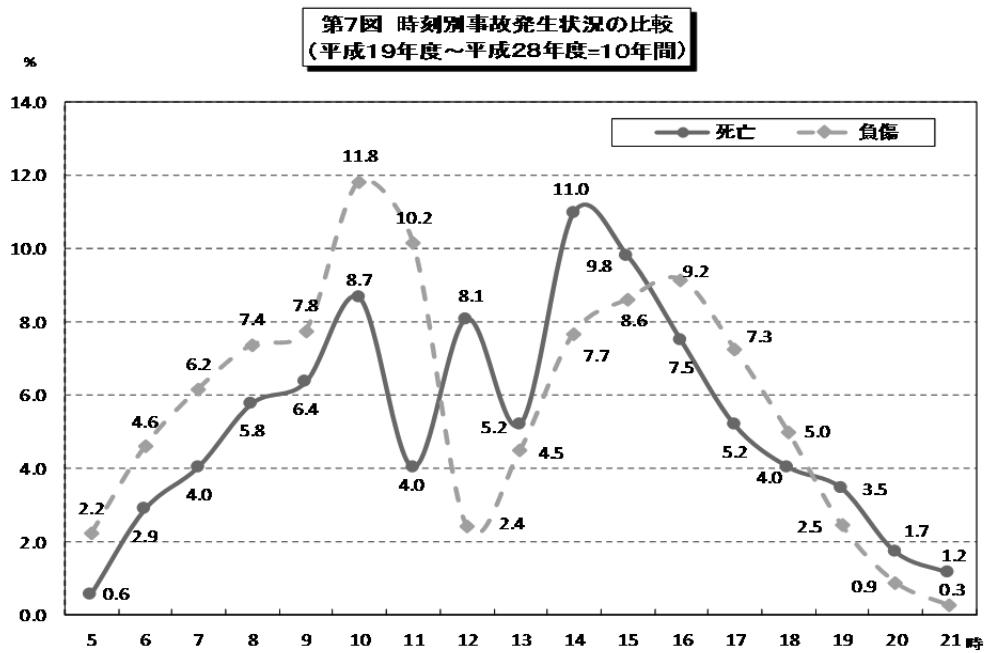
第8-2表 時刻別事故発生状況（負傷）

年度 時刻	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計	%
0	3				2		9		2	17	33	0.1
1	1		1	2		1			1		6	0.0
2		2				4	2		2		10	0.0
3	3	1		2	1	4	1	2	3	2	19	0.1
4	11	10	8	18	14	8	17	12	7	13	118	0.5
5	45	62	51	55	49	66	50	56	46	62	542	2.2
6	114	106	114	113	99	91	130	97	116	137	1,117	4.6
7	126	149	148	170	164	162	148	148	137	148	1,500	6.2
8	165	156	196	205	196	202	165	178	173	155	1,791	7.4
9	193	195	171	223	184	229	174	169	178	167	1,883	7.8
10	311	320	302	311	292	321	299	258	251	209	2,874	11.8
11	265	266	282	285	225	281	263	206	200	195	2,468	10.2
12	56	46	66	62	51	73	64	67	44	63	592	2.4
13	111	121	116	115	109	114	108	115	87	97	1,093	4.5
14	183	196	207	191	195	213	164	170	175	173	1,867	7.7
15	217	212	247	221	248	210	199	203	163	171	2,091	8.6
16	254	240	247	214	228	239	195	195	206	205	2,223	9.2
17	190	182	183	184	159	182	200	154	160	170	1,764	7.3
18	106	128	135	130	131	133	111	97	116	127	1,214	5.0
19	64	71	64	57	53	71	56	57	57	46	596	2.5
20	27	21	23	22	23	20	27	16	16	23	218	0.9
21	7	8	6	4	8	13	5	4	4	6	65	0.3
22	5	3	2	6	3	7	6	6	7	6	51	0.2
23	1	2	1	4	1	4	2	2	2	3	22	0.1
不明	38	9	12	4	10	11	1	9	10		104	0.4
合計	2,496	2,506	2,582	2,598	2,445	2,659	2,396	2,221	2,163	2,195	24,261	100.0









## 7. 事故の対象物件等………死亡は農機、負傷は家畜

### (1) 事故の大半は農機事故

第11表、第8図、第9図のとおり過去10年間の農作業事故を原因別にみると農機事故が大半を占め、10年間のトータルでは死亡事故173件のうち131件（75.7%）、負傷事故24,261件のうち7,111件（29.3%）となっている。

平成28年度では死亡事故12件のうち10件（83.3%）、負傷事故2,195件のうち690件（31.4%）が農機事故となっている。

一方、農作業死亡事故者数の割合は26頁のとおりで過去10年間では141.24人に1人、平成28年度では183.92人に1人の割合となっている。

### (2) 死亡事故はトラクターが最多

10年間のトータルでは第8図のとおりで年次別の実数は第11表のとおりである。

過去10年間の死亡事故173件のうち52件（30.1%）がトラクター事故となっている。

平成28年度は死亡事故12件のうちトラクター事故が7件（58.3%）で最も多く、次いで除雪機・コンバイン・トラック・高所転落・その他が各1件（8.3%）となっている。

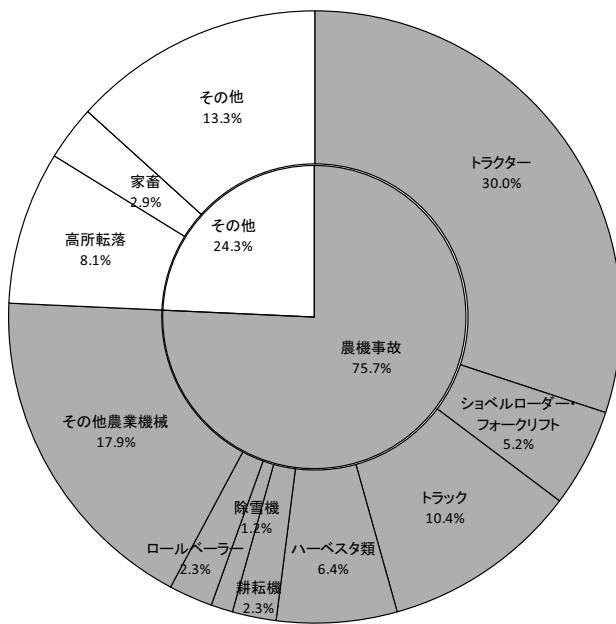
### (3) 負傷事故は家畜（牛・馬・豚）が最多

10年間のトータルは第9図のとおりで年次別の実数は第11表のとおりである。

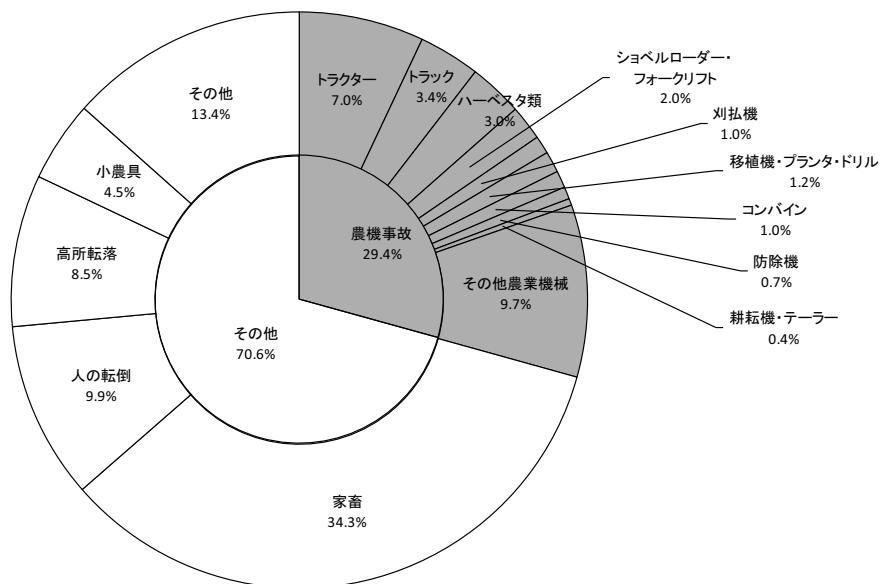
過去10年間の負傷事故24,261件のうち、牛・馬などによる家畜の事故が8,315件（34.3%）で最も多く、次いで人の転倒事故が2,412件（9.9%）、高所転落が2,067件（8.5%）となっている。

平成28年度では負傷事故が2,195件のうち、牛・馬などによる家畜の事故が836件（38.1%）で最も多く、次いで人の転倒が207件（9.4%）、高所転落が132件（6.0%）、トラクター事故が113件（5.1%）となっている。

第8図 原因別事故構成比率（死亡）  
(平成19年～平成28年度＝10年間)



第9図 原因別事故構成比率（負傷）  
(平成19年～平成28年度＝10年間)



#### (4) 事故対象物件等の順位

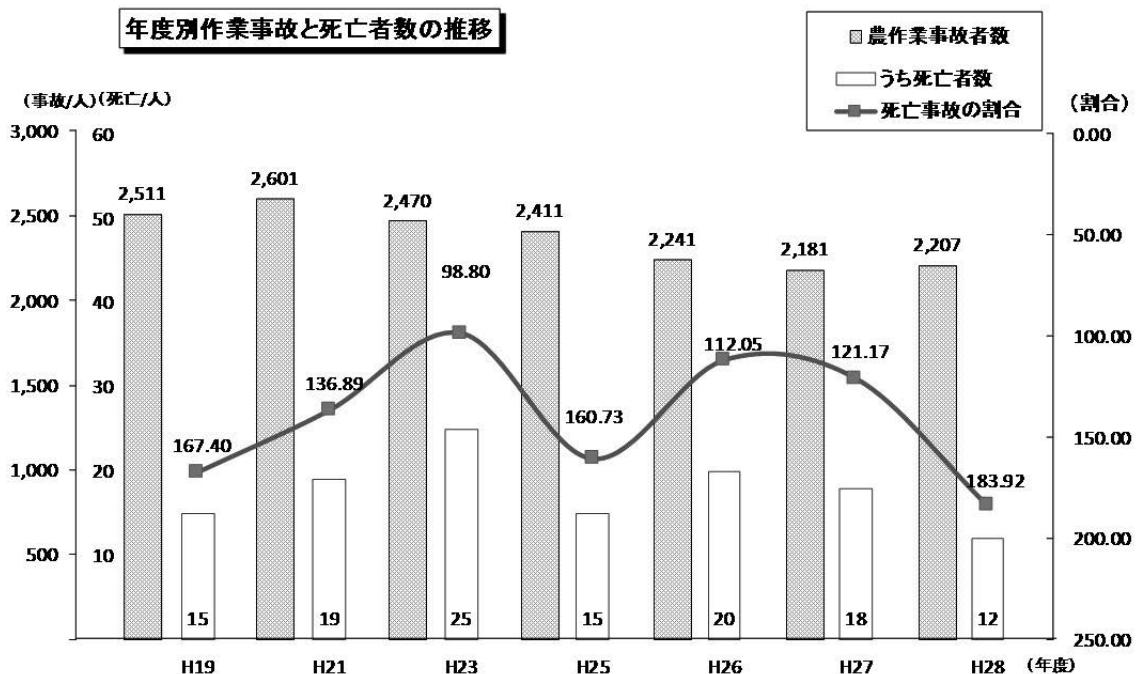
過去10年間の事故対象の物件等順位は第8図、第9図のとおりである。死亡事故ではトラクターが最も多く、次いでトラック、ハーベスター類、高所転落、ショベル・リフト類の順位となっている。

負傷事故では家畜による事故が最も多く、次いで人の転倒、高所転落、トラクターの順位となっている。平成28年度では死亡事故はトラクター、負傷事故は牛・馬などの家畜による事故が最も多くなっている。

また、事故対象物件等の推移をみると第11表のとおり近年農機事故は減少傾向にあり、一方、家畜による事故が増加し、平成20年度以降においては家畜による事故が農業機械による事故を上廻る結果となっている。

【年度別農作業事故と死者者数の割合】

年 度	農作業事故者数	うち死者者数	死 亡 事 故 の 割 合
19	2,511	15	167.40 人につき 1人死亡
20	2,518	12	209.83 "
21	2,601	19	136.89 "
22	2,615	17	153.82 "
23	2,470	25	98.80 "
24	2,679	20	133.95 "
25	2,411	15	160.73 "
26	2,241	20	112.05 "
27	2,181	18	121.17 "
28	2,207	12	183.92 "
計	24,434	173	141.24 "









## 8. 事故の部位………死亡は胸（肋骨）、負傷は足・手（指含む）

### (1) 死亡は胸（肋骨）が33.3%

第13表のとおり平成28年度の死亡事故12件のうち、胸（肋骨）が4件（33.3%）、首・全身が各3件（25.0%）となっている。

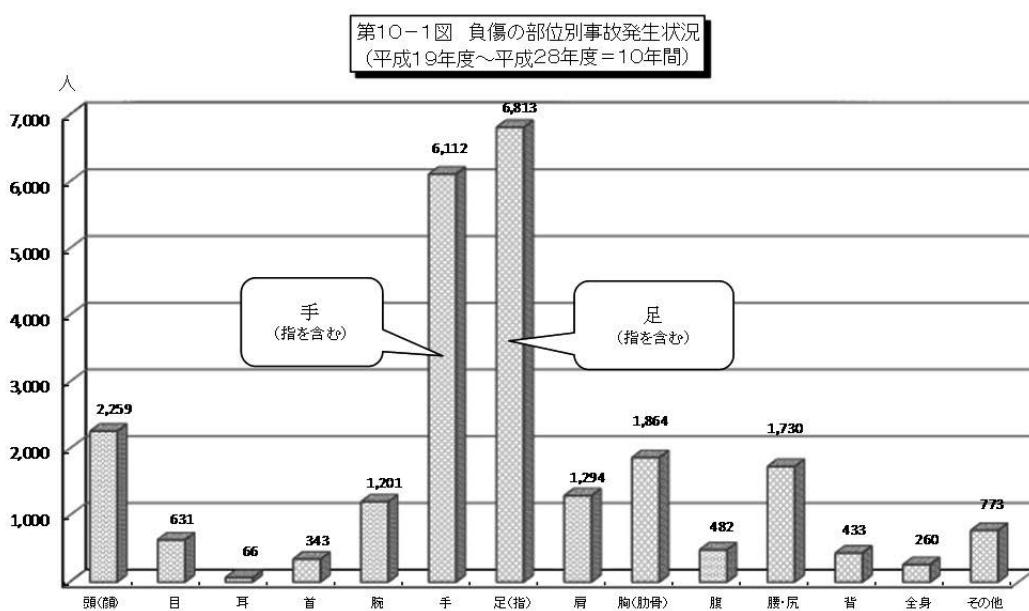
### (2) 負傷は足・手（指含む）で53.3%

第12表のとおり過去10年間のトータルでは足（指含む）6,813件（28.1%）、手（指含む）が6,112件（25.2%）で全体の53.3%を占めている。

第13表のとおり、平成28年度の負傷事故2,195件のうち、足（指含む）が588件（26.8%）、手（指含む）が566件（25.8%）で全体の52.6%を占めている。

**第12表 負傷の部位別事故発生状況**

年度 部位	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	計	%
頭(顔)	201	254	241	253	246	240	225	224	191	184	2,259	9.3
目	54	64	75	51	57	76	73	59	55	67	631	2.6
耳	10	5	5	6	8	4	9	5	8	6	66	0.3
首	32	26	43	37	44	34	51	23	30	23	343	1.4
腕	123	127	159	128	106	150	118	88	88	114	1,201	5.0
手	227	224	180	217	248	272	218	248	249	289	2,372	9.8
指(手)	434	449	449	509	381	367	311	298	265	277	3,740	15.4
足	664	604	631	655	629	635	597	541	532	522	6,010	24.8
指(足)	111	70	105	84	81	88	76	63	59	66	803	3.3
肩	126	138	137	149	116	156	128	101	130	113	1,294	5.3
胸(肋骨)	166	190	220	222	185	223	194	159	170	135	1,864	7.7
腹	49	51	45	60	54	46	42	40	53	42	482	2.0
腰	163	179	192	136	156	182	148	140	133	118	1,547	6.4
背	46	43	41	46	46	58	49	39	33	32	433	1.8
尻	14	20	23	14	18	23	23	18	12	18	183	0.8
全身	24	21	22	14	35	28	19	28	32	37	260	1.1
その他・不明	52	41	14	17	35	77	115	147	123	152	773	3.2
計	2,496	2,506	2,582	2,598	2,445	2,659	2,396	2,221	2,163	2,195	24,261	100.0

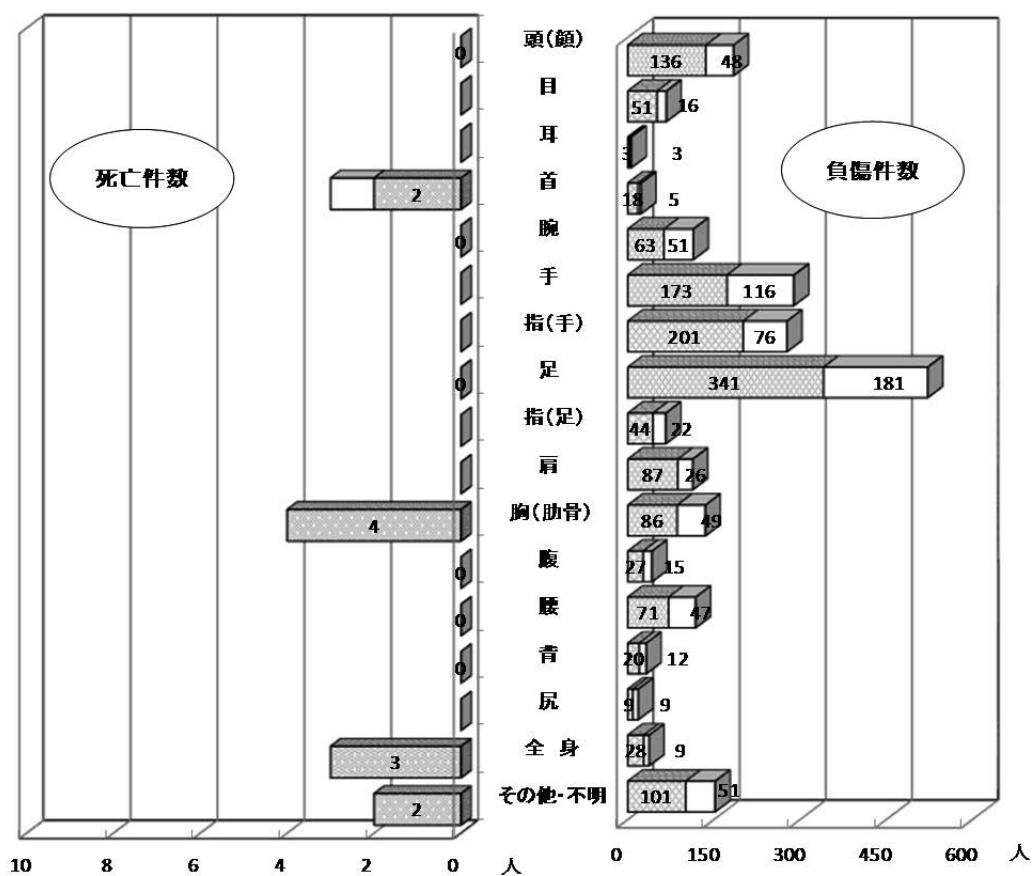


第13表 平成28年度 部位別、性別事故発生状況

部位	死 亡				負 傷			
	男	女	計	%	男	女	計	%
頭(顔)					136	48	184	8.4
目					51	16	67	3.1
耳					3	3	6	0.3
首	2	1	3	25.0	18	5	23	1.0
腕					63	51	114	5.2
手					173	116	289	13.2
指(手)					201	76	277	12.6
足					341	181	522	23.8
指(足)					44	22	66	3.0
肩					87	26	113	5.1
胸(肋骨)	4		4	33.3	86	49	135	6.2
腹					27	15	42	1.9
腰					71	47	118	5.4
背					20	12	32	1.5
尻					9	9	18	0.8
全身	3		3	25.0	28	9	37	1.7
その他・不明	2		2	16.7	101	51	152	6.9
計	11	1	12	100.0	1,459	736	2,195	100.0

第10-2図 平成28年度 部位別・性別事故発生状況

■男 □女



## 9. 負傷の内容……打撲、骨折、切傷、捻挫、挫傷の順

負傷事故の内容をみると、第14、15表に示しているが、単独の負傷内容よりも「打撲と捻挫」といった複数の診断の付いたものが多い。

従ってこの調査では、その受傷の主な原因になったと思われるものを選んで区分したものである。

第14表のとおり過去10年間のトータルでは打撲(27.8%)、骨折(25.2%)、切傷(8.0%)、捻挫(6.5%)、挫傷(5.8%)となっており、この5つの内容で全体の73.3%を占めている。

第15表のとおり平成28年度では打撲(31.9%)、骨折(22.2%)、切傷(8.0%)、挫傷(5.9%)、捻挫・裂傷(5.5%)の順となっている。

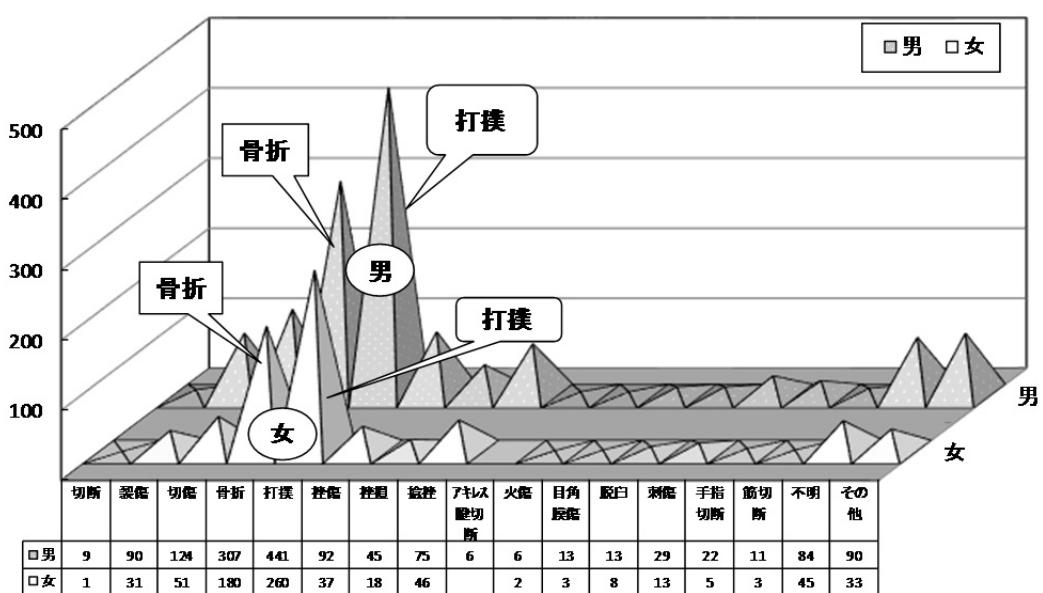
第14表 負傷事故の内容別発生状況

年度 内容	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	計	%
切 断	22	10	4	4	5	14	18	12	6	10	105	0.4
裂 傷	119	122	120	98	122	148	111	108	122	121	1,191	4.9
切 傷	199	176	171	249	208	190	204	197	173	175	1,942	8.0
骨 折	689	722	741	694	620	668	563	492	437	487	6,113	25.2
打 撲	587	645	707	655	650	711	673	689	717	701	6,735	27.8
挫 傷	161	182	163	158	149	133	114	96	117	129	1,402	5.8
挫 損	70	82	81	154	85	102	82	53	32	63	804	3.3
失 明							1				1	0.0
捻 損	201	148	168	169	147	194	163	137	126	121	1,574	6.5
アキレス腱 切断	17	5	14	6	13	8	14	10	6	6	99	0.4
麻 痺	4	1	2	4	2		2	1	6	1	23	0.1
流 産												
火 傷	17	17	10	16	19	13	12	11	12	8	135	0.6
目 角 膜 傷	25	37	48	31	32	35	40	29	17	16	310	1.3
脱 眼	19	28	26	21	18	23	18	11	18	21	203	0.8
刺 傷	45	38	30	43	66	51	54	18	34	42	421	1.7
手 指 切 断	26	23	27	38	17	12	21	10	11	27	212	0.9
足 指 切 断	1	2	3	4	2		3	1	2	1	19	0.1
筋 切 断	58	93	85	87	68	67	26	14	19	14	531	2.2
不 明	145	128	113	111	174	188	142	143	159	129	1,432	5.9
そ の 他	91	47	69	56	48	102	135	189	149	123	1,009	4.2
計	2,496	2,506	2,582	2,598	2,445	2,659	2,396	2,221	2,163	2,195	24,261	100.0

第15表 平成28年度 負傷内容別、性別事故発生状況

内 容	性 別		男		女		計	
	件 数	%	件 数	%	件 数	%	件 数	%
切 断	9	0.6	1	0.1	10	0.5		
裂 傷	90	6.2	31	4.2	121	5.5		
切 傷	124	8.5	51	6.9	175	8.0		
骨 折	307	21.0	180	24.5	487	22.2		
打 撲	441	30.2	260	35.3	701	31.9		
挫 傷	92	6.3	37	5.0	129	5.9		
挫 損	45	3.1	18	2.4	63	2.9		
捻 搓	75	5.1	46	6.3	121	5.5		
アキレス腱 切断	6	0.4			6	0.3		
火 傷	6	0.4	2	0.3	8	0.4		
目 角 膜 傷	13	0.9	3	0.4	16	0.7		
脱臼	13	0.9	8	1.1	21	1.0		
刺 傷	29	2.0	13	1.8	42	1.9		
手 指 切 断	22	1.5	5	0.7	27	1.2		
筋 切 断	11	0.8	3	0.4	14	0.6		
不 明	84	5.8	45	6.1	129	5.9		
そ の 他	90	6.2	33	4.5	123	5.6		
計	1,459	100.0	736	100.0	2,195	100.0		

第11図 平成28年度 負傷の内容別事故発生状況



## 10. 負傷の程度………入院24%、通院76%

過去10年間の事故者の入院、通院の状況は第16表のとおりである。

この調査では負傷の程度まで知ることができないため、入院か通院かでその程度を察知することにした。

ただし、入院が重く通院が軽いとは断定出来ないが、一応の傾向を見たものである。

過去10年間の入院と通院の割合では24：76となっている。

平成28年度の割合は25:75となっている。

第16表 事故者の入院・通院

区分 年度	入院	通院	不明	計	合計	
					入院	通院
19	人 685	人 1,811	人 -	人 2,496	% 27	% 73
20	589	1,917	-	2,506	24	76
21	560	2,022	-	2,582	22	78
22	572	2,026	-	2,598	22	78
23	482	1,963	-	2,445	20	80
24	562	2,097	-	2,659	21	79
25	622	1,774	-	2,396	26	74
26	548	1,673	-	2,221	25	75
27	578	1,585	-	2,163	27	73
28	545	1,650	-	2,195	25	75
計	5,743	18,518	-	24,261	24	76

(注) %は不明を除く。

## 11. トラクター事故の原因別状況………死亡が転倒・転落、負傷は物を落とす・物に挟む（作業機の整備着脱時）

### (1) 死亡は、転倒・転落

第17表のとおりトラクターによる死亡事故は過去10年間のトータルで52件となっている。そのうち原因では転倒・転落によるものが29件で全体の55.8%を占めている。

平成28度ではトラクターによる死亡事故のうち4件が転倒・転落によるものとなっている。

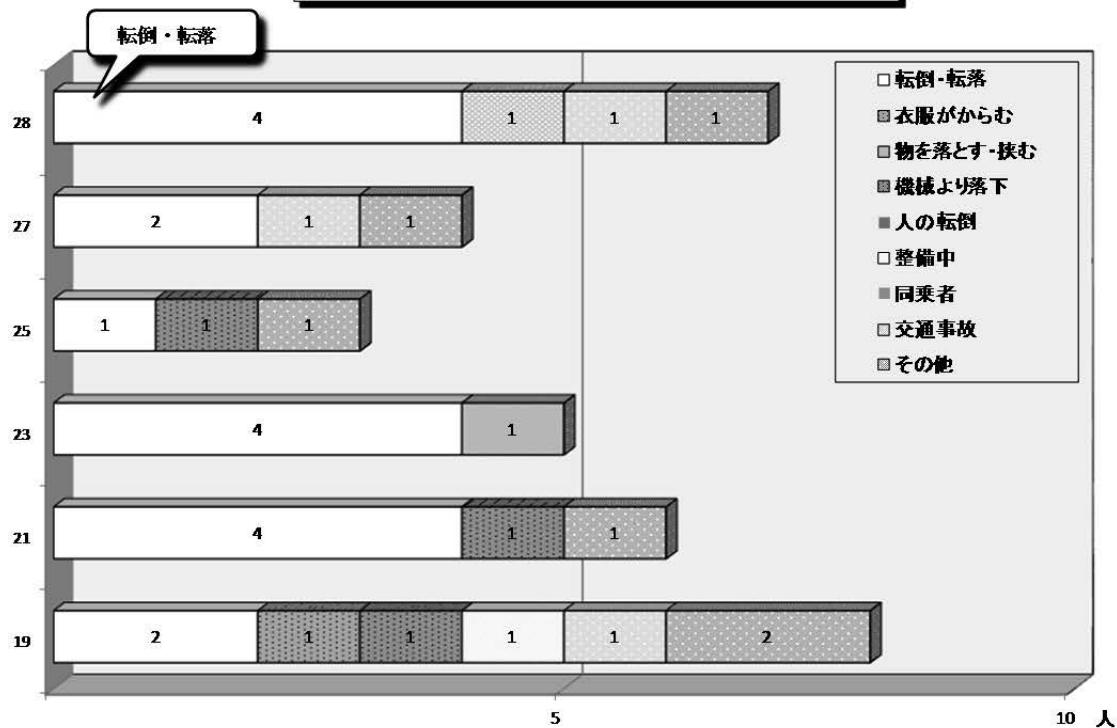
### (2) 負傷は、作業機の整備・着脱時

第17表のとおりトラクターによる負傷事故は過去10年間のトータルで1,698件となっている。そのうち原因ではトラクターへ作業機の整備・着脱時等に物を落とす・物に挟むが528件（31.1%）で、次いで乗降時などのトラクターからの落下が436件（25.7%）となっている。

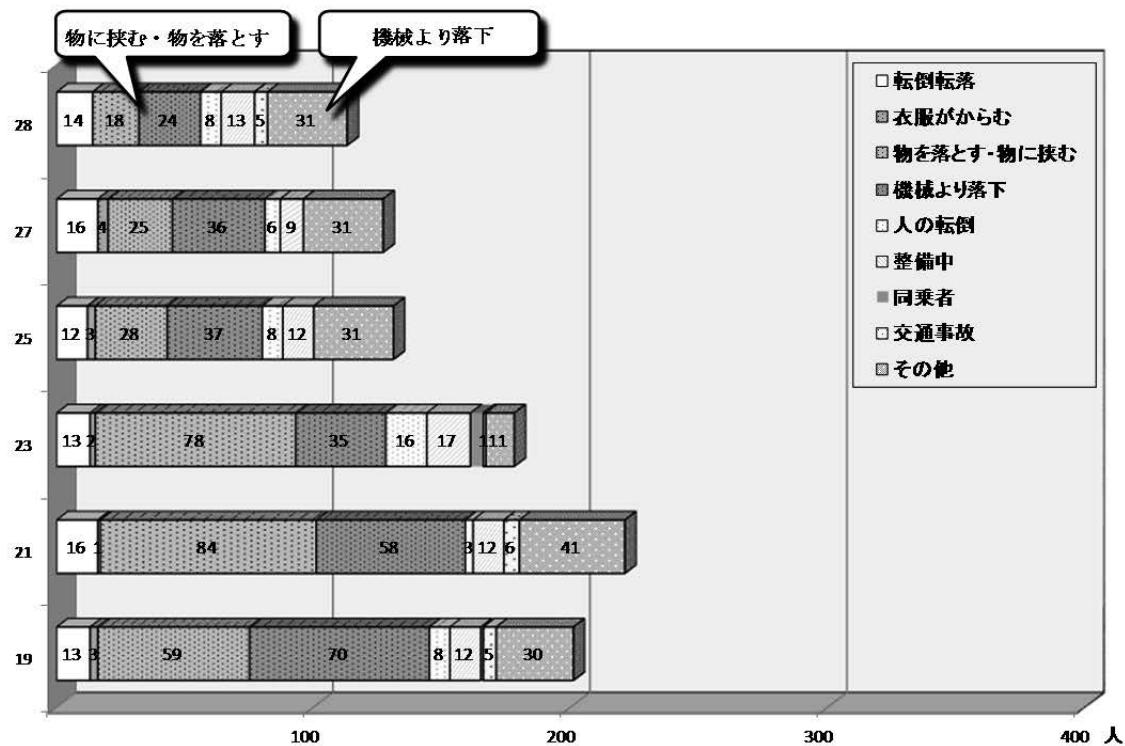
平成28年度ではトラクターによる負傷事故113件のうち物を落とす・物に挟むが18件（15.9%）、乗降時などのトラクターからの落下が24件（21.2%）となっている。



第12図 トラクター事故の原因別事故発生状況(死亡)  
(平成19年度～平成28年度)



第13図 トラクター事故の原因別事故発生状況(負傷)  
(平成19年度～平成28年度)



12. 農業就業人口（2015年農林業センサス）からみた農作業事故………1,000人当たり  
22.9人

農林水産省「2015年農林業センサス」による道内の農業就業人口は96,557人で、5年前の平成22年センサスの111,324人より14,767人減少している。

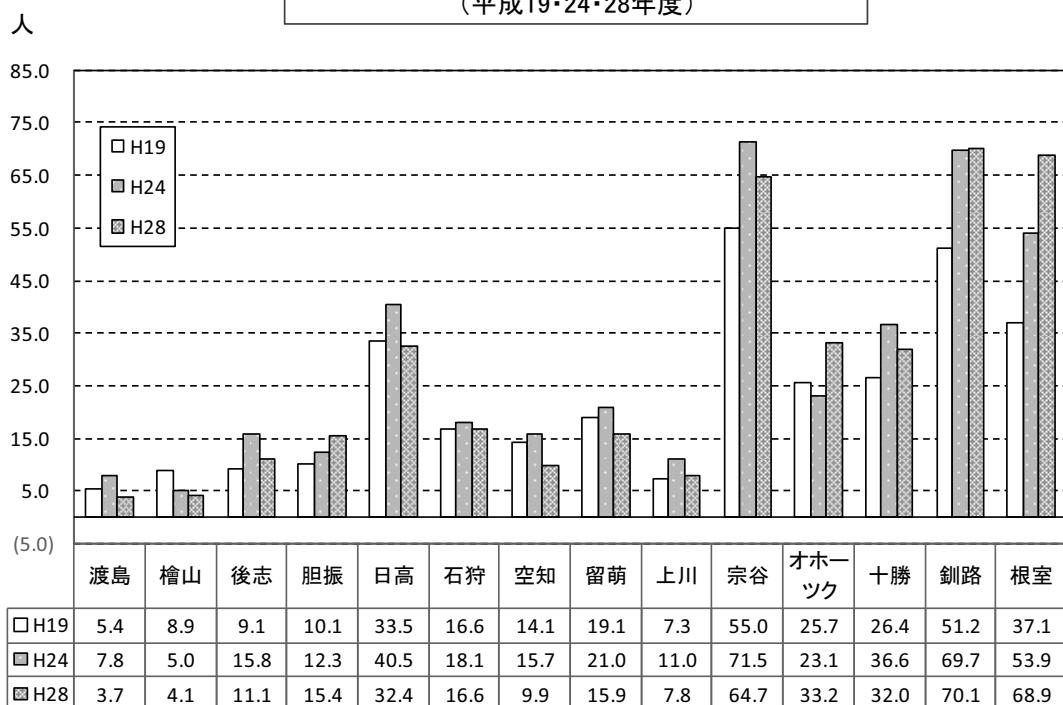
第18表及び第14図のとおり平成28年度の農業就業人口1,000人当たりの農作業事故者数は22.9人となっており、地区別では、釧路、根室、宗谷、日高が高くなっている。

第19表及び第14図のとおり10年間を見ても釧路、根室、宗谷、日高の事故率が高い傾向にある。

第18表 農業就業者1,000人あたり事故件数（平成28年度）

区分 地区	就業者数			事故件数			就業者1,000人あたり		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
渡島	2,104	1,936	4,040	13	2	15	6.2	1.0	3.7
檜山	1,329	1,130	2,459	9	1	10	6.8	0.9	4.1
後志	2,996	2,578	5,574	49	13	62	16.4	5.0	11.1
胆振	2,142	1,881	4,023	45	17	62	21.0	9.0	15.4
日高	2,055	1,743	3,798	100	23	123	48.7	13.2	32.4
石狩	3,057	2,593	5,650	67	27	94	21.9	10.4	16.6
空知	8,989	7,424	16,413	115	47	162	12.8	6.3	9.9
留萌	1,034	850	1,884	18	12	30	17.4	14.1	15.9
上川	8,116	7,068	15,184	85	33	118	10.5	4.7	7.8
宗谷	1,034	743	1,777	73	42	115	70.6	56.5	64.7
オホーツク	6,888	5,620	12,508	276	139	415	40.1	24.7	33.2
十勝	8,963	7,412	16,375	348	176	524	38.8	23.7	32.0
釧路	1,670	1,369	3,039	134	79	213	80.2	57.7	70.1
根室	2,132	1,701	3,833	138	126	264	64.7	74.1	68.9
計	52,509	44,048	96,557	1,470	737	2,207	28.0	16.7	22.9

第14図 農業就業者1,000人あたり事故件数の推移  
(平成19・24・28年度)





## IV 地区別農作業事故発生状況

第 1 表	地区別事故発生状況（10年間）	41
第 2 表	地区別、性別農作業事故発生状況	42
第 3 表	地区別、性別、年齢別農業就業者数（平27. 2. 1）	43
第 4 表	機種別、性別事故発生状況（死亡）	44
第 5 表	〃　　(負傷)	47
第6－1表	年齢別、性別事故発生状況（死亡）	50
第6－2表	〃　　(負傷)	50
第7－1表	月別、性別事故発生状況　（死亡）	51
第7－2表	〃　　(負傷)	51
第8－1表	事故の場所別、性別事故発生状況（死亡）	52
第8－2表	〃　　(負傷)	53
第9－1表	時刻別、性別事故発生状況（死亡）	54
第9－2表	〃　　(負傷)	54
第 10 表	事故の部位別、性別事故発生状況	55
第 11 表	負傷内容別、性別事故発生状況	56
第 12 表	トラクターの原因別事故発生状況	57
第 13 表	負傷者の入院、通院別事故発生状況	59



第1表 地区別事故発生状況

## (1) 死亡事故

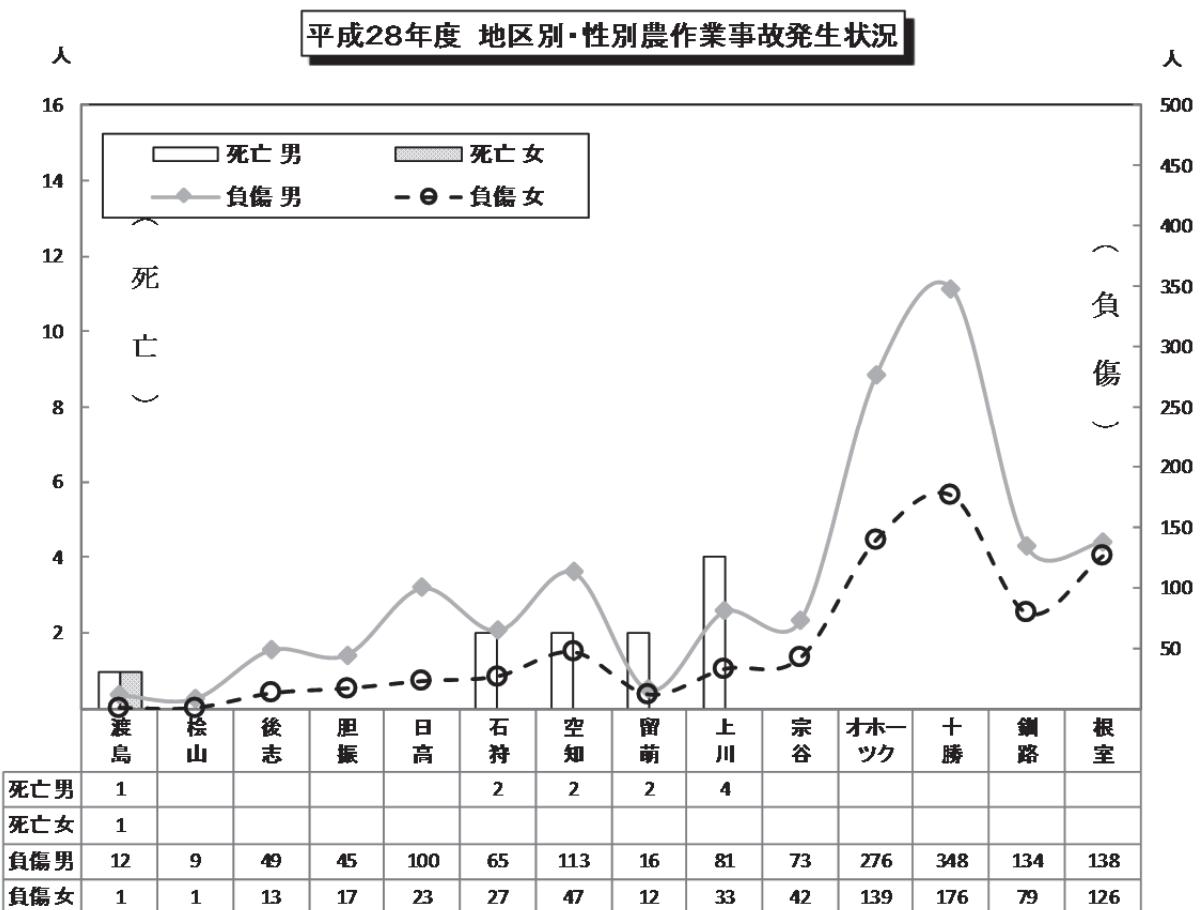
年 地区	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	計	%
渡島		1			1			1		2	5	2.9
桧山			1	1	2	2			1		7	4.0
後志	3		5			3	1	3			15	8.7
胆振			2		1		1		1		5	2.9
日高					1			1	1		3	1.7
石狩	1		1	1	3	1		2		2	11	6.4
空知	2	1		2	2	5	3		8	2	25	14.5
留萌	1	1		1		1			1	2	7	4.0
上川	3	1	2	3	6		3	4	2	4	28	16.2
宗谷			1	1		1					3	1.7
オホーツク	3	3	1	5	3	1	4		1		21	12.1
十勝	2	4	4	3	4	4	2	7	3		33	19.1
釧路						1	1				2	1.2
根室			1	2		3					8	4.6
計	15	12	19	17	25	20	15	20	18	12	173	100.0

## (2) 負傷事故

年 地区	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	計	%
渡島	30	23	26	39	26	36	32	24	14	13	263	1.1
桧山	30	28	19	22	25	12	14	11	11	10	182	0.8
後志	67	77	95	108	63	99	79	66	80	62	796	3.3
胆振	56	57	55	67	61	57	59	63	44	62	581	2.4
日高	178	205	217	195	165	182	163	171	127	123	1,726	7.1
石狩	137	109	116	120	97	121	86	89	94	92	1,061	4.4
空知	326	289	283	310	291	294	241	175	162	160	2,531	10.4
留萌	58	72	50	35	22	47	29	25	25	28	391	1.6
上川	155	189	190	191	202	195	158	120	105	114	1,619	6.7
宗谷	114	109	90	103	113	145	88	138	115	115	1,130	4.7
オホーツク	421	423	453	424	405	333	429	418	384	415	4,105	16.9
十勝	529	533	593	574	545	663	523	494	520	524	5,498	22.7
釧路	212	204	208	220	218	242	270	225	227	213	2,239	9.2
根室	183	188	187	190	212	233	225	202	255	264	2,139	8.8
計	2,496	2,506	2,582	2,598	2,445	2,659	2,396	2,221	2,163	2,195	24,261	100.0

第2表 平成28年度 地区別、性別農作業事故発生状況

地区	死亡		負傷		合計			%
	男	女	男	女	男	女	計	
渡島	1	1	12	1	13	2	15	0.7
桧山			9	1	9	1	10	0.5
後志			49	13	49	13	62	2.8
胆振			45	17	45	17	62	2.8
日高			100	23	100	23	123	5.6
石狩	2		65	27	67	27	94	4.3
空知	2		113	47	115	47	162	7.3
留萌	2		16	12	18	12	30	1.4
上川	4		81	33	85	33	118	5.3
宗谷			73	42	73	42	115	5.2
オホーツク			276	139	276	139	415	18.8
十勝			348	176	348	176	524	23.7
釧路			134	79	134	79	213	9.7
根室			138	126	138	126	264	12.0
計	11	1	1,459	736	1,470	737	2,207	100.0













作業機	地区別		渡島	桧山	後志	胆振	日高	石狩	空知	留萌	上川	宗谷	網走	十勝	釧路	根室	計	合計	%			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
普通型コンバイン							2	3	1		1		1	2				9	1	10 0.5		
ビーンハーベスタ					1								4					5	5	0.2		
ビートハーベスタ (タッパ)						1	1			1		2	1	10	1	1		15	2	17 0.8		
ポテトハーベスタ (ディガ)			1	1				1			2	6	8	12	12			22	21	43 2.0		
玉ねぎハーベスタ								1		3 1		7	3	2				13	4	17 0.8		
レシプロ型モーア																						
ディスクモーア										1			1	1				3	3	0.1		
モアコンディショナ							1						2					2	2	0.1		
ロータリ型											1							2	2	0.1		
レーキ・テッダ													2	1				3	3	0.1		
その他の レーキ・テッダ																						
グラスチョッパー													1					1	1	0.0		
コンパクトベーラー																						
ロールベーラー				1									1	1	1	4	8	8	0.4			
ベルローダ																						
コーンハーベスタ		1											1				2	2	0.1			
フォーレージ ハーベスタ																						
ヘーエレベーター																						
フォーレージプロアー																						
吹上カッタ																						
ダンptrラック				1	1			1	1	1		1		7	2	1	2	1	13	6	19 0.9	
トレーラー									2				3		1	2	1		7	2	9 0.4	
ダンptrトレーラー													1					1	1	0.0		
ロードワゴン																						
ピックアップワゴン								1	3			4		13	4	9	1	2		36	5	41 1.9
ショベルローダ・ フォークリフト			1	3																		
一輪車												1						2	2	0.1		
二輪車												1		1				1	1	0.0		
フロントローダー		1		1								1		2				5	5	0.2		
バックレーキ				1														1	1	0.0		
トラック	1	1	2	1	1	1		3	1	1	2		6	1	26	7	7	4	49	16	65 3.0	
ローリ類														1					1	1	0.0	
農用ブルドーザー																						







表8－1 事故の場所別、性別事故発生状況（死亡）

区分 地区	水田		畑		牧草地		農道		公道		道路取付口		自宅	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
渡島 桧山 後志 胆振 日高			1					1						
石狩 空知 留萌 上川 宗谷		1				1				1				
オホーツク 十勝 釧路 根室														
計	2		1		1				1	1				

区分 地区	敷地内		山林		畜舎		サイロ		乾燥収納舎		納屋		農業機械格納庫	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
渡島 桧山 後志 胆振 日高														
石狩 空知 留萌 上川 宗谷		1										1		
オホーツク 十勝 釧路 根室														
計	1		1									1		

区分 地区	ハウス		用水路		堆肥場		不明		その他		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
渡島 桧山 後志 胆振 日高											1	1	2
石狩 空知 留萌 上川 宗谷	1	1									2	2	2
オホーツク 十勝 釧路 根室											2	2	2
計	2								1		11	1	12







表11 平成28年度 負傷内容別、性別事故発生状況

区分 地区	切 断		裂 傷		切 傷		骨 折		打 撲		挫 傷		挫 損		失 明	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
渡島					7		1		1							
桧山	1		4		1	3	3	3								
後志					7		12	3	8	3	5	1				
胆振			2	1	2		7	3	14	7	8					
日高			8	1	3	31	11	33	7	2						
石狩	1		10	3	10	1	10	9	16	6	3	3				
空知	4	1	5		9	3	25	12	17	7	8	4	2	1		
留萌					1	1	2	2	5	4		1	2			
上川	1		7	4	6	1	20	8	16	12	10					
宗谷	1			1	7	2	7	5	38	25	1	1	5	4		
才ホーツク	1		26	6	28	10	53	41	80	44	13	7	8	1		
十勝			20	8	29	23	85	50	93	48	25	12	2	1		
釧路			5	2	11	4	17	13	57	33	4	4	21	11		
根室			3	4	10	6	28	23	60	64	12	4	2			
計	9	1	90	31	124	51	307	180	441	260	92	37	45	18		

区分 地区	捻 挫		アキレス腱切断		麻 痺		流 産		火 傷		目角膜傷		脱臼		刺 傷	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
渡島			1									2	1	1		
桧山	2		2						1		1	2	2	1		
後志	2															
胆振	2															
日高	4	1														
石狩	4	2							1		1					
空知	6	1									1				3	2
留萌	1	1										1		2	4	1
上川	3	3							1						3	1
宗谷	4	1														
才ホーツク	19	13								3		3	3	1	5	2
十勝	17	10	2						3	1	5	1	3	2	8	3
釧路	7	5								2		2	3	1	3	1
根室	6	9	1		1					1	1		2			
計	75	46	6		1				6	2	13	3	13	8	29	13

区分 地区	手指切斷		足指切斷		筋切斷		不 明		その他の		計		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
渡島									3		12	1	13	
桧山									1		9	1	10	
後志	2	1			2		2	1	2	2	49	13	62	
胆振	3	1					1		4	3	45	17	62	
日高					1		4		11	3	100	23	123	
石狩							3	3	4		65	27	92	
空知	2				1		24	9	6	7	113	47	160	
留萌			1		1	1	2	2			16	12	28	
上川	3		1		1	1	2		10		81	33	114	
宗谷							7	2	73		73	42	115	
才ホーツク	2	2			2		21	8	12	4	276	139	415	
十勝	8	1			2		21	10	25	6	348	176	524	
釧路	2				2	2	1	2	3	3	134	79	213	
根室							3	10	2	3	138	126	264	
計	22	5	1		11	3	84	45	90	33	1,459	736	2,195	

表 12 平成 28 年度 トラクターの原因別事故発生状況

区分 地区別	転 倒 転 落				衣 か 服 ら が む 物 を 挟 む む 物 に 落 と す			機 械 よ り 落 下			人 転 の 倒		整 備 中			同 乗 者	交 通 事 故	そ の 他		計	
	田	畠	牧	道 路 （ 含 農 道 ）	P T ○	作 業 装 置 部	そ の 他	整 備 ・ 着 脱 時	動 力 伝 達 部	そ の 他	乗 降	作 業 時 乗 降	作 業 中	作 業 中	整 備	油 圧 閥	機 械 閥	工 具 関 係	作 業 機 独 自 他		
渡島	死					1														1	2
	負																				
島	計					1														1	2
桧山	死																				
	負												1								1
	計												1								1
後志	死																				
	負												1		1					1	3
	計												1		1					1	3
胆振	死																				
	負														1					2	3
	計														1					2	3
日高	死																				
	負																				
	計																				
石狩	死																			1	1
	負					1				1			4							1	1
	計					1				1			4							2	1
空知	死																				
	負			1		1				4			4				1	1	3		2
	計			1		1				4			4				1	1	3		2
留萌	死																				
	負									1			2								3
	計									1			2								3

区分 地区別	転 倒 転 落			衣 か 服 ら が む			物 を 捜 む			機 械 より 落 下			人 転 の 倒			整 備 中			同 乗	交 通 事 故	そ の 他		計			
	田	畑	牧 草 地	道 路 (含 農 道)	P T O	作 業 装 置	そ の 他	整 備 · 着 脱 時	動 力 伝 達 部	そ の 他	乗 時 乘 部	作 業 時 降 部	作 業 中	作 業 中	整 備	油 圧 関 係	機 械 関 係	工 具 関 係	そ の 他		そ の 他					
上 川	死	1		1	1					1														4		
	負				2				1		1	3			1						1	1	8	18		
	計	1		1	3				1		2	3			1						1	1	8	22		
宗 谷	死																									
	負															1									1	
	計															1									1	
オ ホ 一 ツ ク	死																									
	負	1							1		1	6			3			3	1		2	2	7	27		
	計	1							1		1	6			3			3	1		2	2	7	27		
十 勝	死																									
	負		1		1				5		2		2		1		1	2					4	19		
	計		1		1				5		2		2		1		1	2					4	19		
釧 路	死																									
	負			2	1				1		1						1	1		1		1		8		
	計		2	1					1		1						1	1		1		1		8		
根 室	死																									
	負				1	1																		2	4	
	計				1	1																		2	4	
計	死	1			1	2					1										1	1		7		
	負	1	2	3	8				15		3	21			3	6	2	2	7	4		5	7	24	113	
	計	2	2	4	10				15		4	21			3	6	2	2	7	4		6	8	24	120	

表 13 平成 28 年度 負傷者の入院、通院別事故発生状況

区分 地区名	平成 27 年度									平成 28 年度								
	入 院			通 院			不 明			入 院			通 院			不 明		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
渡 島	6	1	7	5	2	7				6		6	6	1	7			
桧 山	2		2	8	1	9				8	1	9	1		1			
後 志	15	12	27	36	17	53				17	4	21	32	9	41			
胆 振	2		2	14	2	16				8	6	14	37	11	48			
日 高	45	9	54	10	3	13				75	14	89	25	9	34			
石 狩	14	11	25	43	26	69				13	8	21	52	19	71			
空 知	44	7	51	79	32	111				19	9	28	94	38	132			
留 萌	5	1	6	18	1	19				2	2	4	14	10	24			
上 川	13	13	26	53	26	79				15	4	19	66	29	95			
宗 谷	31	33	64	29	22	51				42	21	63	31	21	52			
オホーツク	47	29	76	200	108	308				59	33	92	217	106	323			
十 勝	37	20	57	111	58	169				57	29	86	291	147	438			
釧 路	26	8	34	37	35	72				30	18	48	104	61	165			
根 室	8	5	13	54	63	117				25	20	45	113	106	219			
計	295	149	444	697	396	1,093				376	169	545	1,083	567	1,650			



## V 市町村別農作業事故発生状況

渡島地区	63
桧山地区	63
後志地区	63
胆振地区	64
日高地区	64
石狩地区	64
空知地区	65
留萌地区	65
上川地区	66
宗谷地区	66
オホーツク地区	67
十勝地区	67
釧路地区	68
根室地区	68



渡島地区

市町村名	死 亡		負 傷		計	機 械 事 故		その他の事故	計
	男	女	男	女		トラクター	その他機械		
函 館 市									
松 前 町									
福 島 町									
知 内 町									
木 古 内 町									
北 斗 市	1		1		2	1	1		2
七 飯 町			5		5		3		5
鹿 部 町			1		1			1	1
森 町									
八 雲 町		1	5	1	7	1	1	5	7
長 万 部 町									
計	1	1	12	1	15	2	5	8	15

桧山地区

江 差 町									
上 ノ 国 町									
厚 沢 部 町			6	1	7	1	3	3	7
乙 部 町									
奥 尻 町									
せ た な 町			3		3			3	3
今 金 町									
計			9	1	10	1	3	6	10

後志地区

小 樽 市									
島 牧 村									
寿 都 町									
黒 松 内 町			3	3	6		3	3	6
蘭 越 町			5		5	2	3		5
二 セ コ 町									
真 狩 村			12	3	15		5	10	15
留 寿 都 村			2		2	1	1		2
喜 茂 別 町				1	1			1	1
京 極 町									
俱 知 安 町			4	1	5		4	1	5
共 和 町			10	1	11		6	5	11
岩 内 町									
泊 村									
神 恵 内 村									
積 丹 町									
古 平 町									

市町村名	死 亡		負 傷		計	機 械 事 故		その他の事故	計
	男	女	男	女		トラクター	その他機械		
仁木町			6	2	8		3	5	8
余市町			7	2	9		2	7	9
赤井川村									
計			49	13	62	3	27	32	62

#### 胆振地区

室蘭市			1		1			1	1
苫小牧市			1		1			1	1
登別市			2		2		1	1	2
伊達市			6	3	9	1	7	1	9
豊浦町			2	1	3			3	3
洞爺湖町			8	4	12	1	3	8	12
壯瞥町			6	4	10		3	7	10
白老町			19	5	24	1	8	15	24
安平町									
厚真町									
むかわ町									
計			45	17	62	3	22	37	62

#### 日高地区

平取町			11	1	12		2	10	12
日高町			19	6	25			25	25
新冠町			14	2	16		3	13	16
新ひだか町			35	11	46			46	46
浦河町			20	3	23			23	23
様似町			1		1			1	1
えりも町									
計			100	23	123		5	118	123

#### 石狩地区

札幌市			4	2	6		2	4	6
江別市	1		17	4	22	3	7	12	22
千歳市			12	10	22	1	10	11	22
恵庭市			12	6	18	2	6	10	18
北広島市			1	1			1		1
石狩市									
当別町			15	4	19	2	9	8	19
新篠津村	1		5		6	1	5		6
計		2	65	27	94	9	40	45	94

空知地区

市町村名	死 亡		負 傷		計	機 械 事 故		その他の事故	計
	男	女	男	女		トラクター	その他機械		
夕張市			7		7			7	7
岩見沢市			23	10	33	3	26	4	33
美唄市			5	1	6	3	1	2	6
芦別市			4	3	7	1	3	3	7
赤平市									
三笠市			1	1	2		1	1	2
滝川市			3	1	4	1	2	1	4
砂川市			5	1	6	1	2	3	6
歌志内市									
深川市			14	6	20	1	6	13	20
南幌町			3	2	5		1	4	5
奈井江町			4	4	8			8	8
上砂川町									
由仁町			2		2	1		1	2
長沼町			9	4	13	1	6	6	13
栗山町			8	2	10		6	4	10
月形町			4	3	7	1	1	5	7
浦臼町			4	1	5		1	4	5
新十津川町			7	3	10	2	6	2	10
妹背牛町	1		2	2	5		4	1	5
秩父別町			2		2	1	1		2
雨竜町	1					1		1	1
北竜町			2	1	3		1	2	3
沼田町			4	2	6	2	1	3	6
計	2		113	47	162	18	70	74	162

留萌地区

留萌市									
増毛町	1		2	2	5		1	4	5
小平町	1				1			1	1
苦前町			1	1	2			2	2
羽幌町									
初山別村			3	1	4	2		2	4
遠別町									
天塩町			10	8	18	1		17	18
計	2		16	12	30	3	1	26	30

**上川地区**

市町村名	死 亡		負 傷		計	機 械 事 故		その他の事故	計	
	男	女	男	女		トラクター	その他機械			
旭川市			2	1	3			3	3	
士別市			6	2	8	1	3	4	8	
名寄市										
富良野市			13	9	22	5	8	9	22	
鷹栖町										
東神楽町							0			
当麻町			3	3	6	1		5	6	
比布町			2		2	1	1		2	
愛別町			5		5	1	1	3	5	
上川町			5		5		1	4	5	
東川町										
美瑛町	2		14	5	21	5	8	8	21	
上富良野町	1		2	5	8	1	3	4	8	
中富良野町			10	3	13	2	7	4	13	
南富良野町										
占冠村										
和寒町			5	1	6	2	4		6	
剣淵町	1		3	1	5	1		2	5	
下川町			4	1	5			5	5	
美深町			5	2	7	2		5	7	
音威子府村										
中川町										
幌加内町			2		2		1	1	2	
計		4		81	33	118	22	39	57	118

**宗谷地区**

稚内市			9	7	16			16	16
猿払村			11	4	15		3	12	15
浜頓別町			22	5	27	1		26	27
中頓別町			11	8	19			19	19
枝幸町			2	4	6			6	6
豊富町			17	8	25			25	25
礼文町									
利尻町									
利尻富士町									
幌延町			1	6	7			7	7
計			73	42	115	1	3	111	115

## オホーツク地区

市町村名	死 亡		負 傷		計	機 械 事 故		その他の事故	計
	男	女	男	女		トラクター	その他機械		
北見市			36	15	51	4	33	14	51
網走市			41	10	51	4	31	16	51
紋別市			10	5	15	1	6	8	15
大空町			35	18	53	4	27	22	53
美幌町			9	7	16	2	5	9	16
津別町			13	9	22	1	9	12	22
斜里町			5	5	10		4	6	10
清里町			19	7	26	2	15	9	26
小清水町			27	8	35	3	19	13	35
訓子府町			13	6	19	2	7	10	19
置戸町			11	11	22		5	17	22
佐呂間町			13	10	23		2	21	23
遠軽町			7	6	13	1	2	10	13
湧別町			21	13	34	2	5	27	34
滝上町			1		1		1		1
興部町			5	7	12		2	10	12
西興部村									
雄武町			10	2	12	1	1	10	12
計			276	139	415	27	174	214	415

## 十勝地区

帯広市			42	29	71	3	35	33	71
音更町			25	20	45	3	15	27	45
士幌町			16	10	26	1	6	19	26
上士幌町			10	4	14	1	4	9	14
鹿追町			25	22	47		5	42	47
新得町			11	3	14	1	1	12	14
清水町			24	4	28	1	9	18	28
芽室町			47	14	61	6	25	30	61
中札内村			11	5	16		4	12	16
更別村			16	4	20	2	10	8	20
大樹町			10	7	17		3	14	17
広尾町			2		2			2	2
幕別町			26	21	47	1	18	28	47
池田町			7	2	9		6	3	9
豊頃町			18	6	24		3	21	24
本別町			15	6	21		2	19	21
足寄町			14	8	22		5	17	22
陸別町			11	4	15		2	13	15
浦幌町			18	7	25		8	17	25
計			348	176	524	19	161	344	524

**釧路地区**

市町村名	死 亡		負 傷		計	機 械 事 故		その他の事故	計
	男	女	男	女		トラクター	その他機械		
釧 路 市			22	4	26	1	3	22	26
釧 路 町			13	7	20		1	19	20
厚 岸 町			25	14	39	3	2	34	39
浜 中 町			45	24	69	3	2	64	69
標 茶 町			15	17	32	1	3	28	32
弟 子 屈 町			9	9	18		2	16	18
鶴 居 村			5	4	9		3	6	9
白 糠 町									
計			134	79	213	8	16	189	213

**根室地区**

根 室 市			8	10	18			18	18
別 海 町			62	54	116		7	109	116
中 標 津 町			35	32	67	2	4	61	67
標 津 町			33	30	63	2	3	58	63
羅 曰 町									
計			138	126	264	4	14	246	264

## VI 参 考 資 料

1. 平成28年度農作業事故発生状況（死亡）	71
2. NHKラジオ放送用原稿（お知らせ版）	73



# 1. 平成28年度農作業事故発生状況（死亡）

総合振興局	市町村名	事故者		発 生		発生場所	使機施設	用械名	取得免許の種類	安全フレームの有無	発生原因・発生時の状況	労災加入状況の有無	共済加入状況の有無
		年齢	性別	月日	時刻								
1 上川	剣淵町	92	男	4月27日	不明	水田	トラクター	不明	二柱式		水田にトラクターが滑落・横転しているのを通行人が発見し、見に行くと被災者がトラクターの下敷きになっていたため消防へ通報した。発見者が何度も呼びかけたがまったく反応はなく、その後救急車にて近隣の病院へ搬送されたが、胸部を強く打っており、病院にて出血性ショックにより死亡が確認された。なお、発生時刻は不明である。目撃者がいないため詳細は不明だが、自宅横の農道（幅2m程）をトラクターで運転中、運転操作を誤り水田へ滑落したようである。また、トラクターの後ろには、木や小枝が積んであったとみられ、その運搬の際に事故が発生したものと考えられる。	無	無
2 渡島	八雲町	75	女	6月10日	不明	農道	トラクター	不明	無		朝トラクターに乗車し自宅を出て自宅西側にある野田追川方面へ向かった（農作業目的ではない）。午前11時頃被害者が帰宅しないことを不審に思い周辺を捜索。午前11時40分頃、家族が自宅から西に約800mの場所で農道（道幅3mの砂利道）から河川敷へ転落しているトラクターを発見。（農道と河川敷の高低差は約1m）家族は同時に消防へ通報。被害者は運転席から逸脱し、トラクター左後輪のフェンダーに頭部を挟まれた状態で発見された。消防が到着後、直ちに救助活動を行い救出したが心肺停止の状態で間もなく死亡が確認された。	無	無
3 留萌	小平町	54	男	7月18日	不明	納屋	納屋	不明	不明		自宅向かいにある納屋の屋根葺き替え作業中に転落し、用水路に上半身が浸かった状態で倒れているのを妻が発見。頭部の打撲と椎骨動脈破裂により午後15時30分に死亡。	有	有
4 上川	美瑛町	62	男	7月24日	10:57	牧草地	トラクター	不明	安全キャビン		牧草地でロール運搬中にトラクターが横転し下敷きになった。傷病者は脱出済みであり右上半身の痛みを訴え口から血を流しているとの通報があった。消防が現場に駆け付けたところ、トラクターが横転した状態で左側臥位であり、右手痛みと嘔気を訴えていた。トラクターはその後さらなる横転をする危険性は無い状態でエンジンは停止しており、燃料は流出していた。ドクターヘリ現着後、医者の診察により病院へ搬送されたが死亡した。	有	不明
5 石狩	江別市	72	男	8月1日	不明	ハウス	ビニールハウス	不明	不明		8月1日（月）14時55分頃、ビニールハウス内で72歳男性従業員が倒れていたのを別の従業員が発見し、消防に通報。救急隊により病院へ搬送されたが、死亡が確認された。（熱中症の疑い）	不明	不明
6 石狩	新篠津村	61	男	8月19日	19:30	公道	トラクター	大型特殊	無		防除作業を終え圃場から自宅へ帰る途中、後方から来た乗用車に追突されトラクターごと路外へ転落、首の骨の骨折及び頭部の損傷により搬送先の病院で死亡が確認された。 「トラクター30HP（シバウラ）後方に防除用タンク設置（タンクに反射板あり）・旧型トラクターのためシートベルトなし、安全フレームなし・低速車マークについては確認できていない」	無	有

総合振興局	市町村名	事故者		発生		発生場所	使機施設用械名	取得免許の種類	安全フレームの有無	発生原因・発生時の状況	労災加入状況の有無	共済加入状況の有無
		年齢	性別	月日	時刻							
7 渡島	北斗市	73	男	9月20日	14:00	畑	トラクター	不明	不明	9月20日午後2時ごろ、被害者の畑の脇道に止めていた自己所有のトラクタにひかれて死亡した。近隣住民が、被害者のトラクタが地図の事故現場に、不自然に停止していることを不思議に思い、被害者の妻に報告した。その後妻が現場に向かうと、仰向けになつて倒れている被害者を発見した。北斗消防署員が駆け付けた時点で、意識や呼吸はなかった。その後病院に搬送されたが死亡が確認された。原因是、被害者が畑にて農作業を行つた後、トラクタに付いたゴミなどを取るために、畑から一度出てやや傾斜のある脇道に停車していたようで、何らかの原因でトラクタが動いて下敷きになつた。	不明	不明
8 留萌	増毛町	75	男	9月29日	14:45	水田	稲刈り機	不明	不明	平成28年9月29日は午後1時過ぎから稲刈りをしていました。午後2時30分頃、事故対象者の水田で対象者が普段はあまり通らないあぜ道をコンバイン（稲刈り機）にて走行中、逸脱し後退にてコンバインごと約2m下の沢に転落（180度横転）し、運転していた対象者が下敷きとなつた。事故を目撃していた妻が駆け付け、あぜ道から呼びかけるも返答がないため、自宅に戻り救急を要請した。	無	無
9 上川	美瑛町	85	男	10月4日	21:05	山林	トラクター	不明	不明	本人は10月2日（日）山菜採りへ出かけた際、車が林道脇へ転落し3日（月）に救助されていた。4日（火）車を回収するためトラクターに乗り一人で林道へ向かった。同日21時05分頃に消防へ林道脇に転落している本人を発見したとの通報があり、現場へ駆けつけたところ横転したトラクターの傍らに本人が仰臥位で倒れ、心肺停止状態であった。救急車現着後、美瑛町立病院へ搬送されたが死亡が確認された。	不明	不明
10 上川	上富良野	78	男	1月10日	9:00	倉庫	トラクター	不明	無	キャビンのついていないトラクターで牧草ロールの積み上げ作業中、牧草ロールが転落し運転席へ直撃。胸部圧迫により死亡したもの。	不明	不明
11 空知	雨竜町	62	男	4月21日	7:47	敷地内	トラック	不明	無	資材置場でトラッククレーンを使い堆肥を積むショベルローダのパケットを下す作業をしていた際に、パケットごと転落しパケットの下敷きとなり死亡した。	有	有
12 空知	妹背牛町	89	男	3月25日	11:39	ハウス	除雪機	普通	無	午前11時頃から自宅東側、花卉栽培用ハウス周りの除雪を行つていた。午前11時30分頃、子が帰宅しタマネギ育苗ハウス（自宅東側）の状況を見に行つたところ、作業中の除雪機のエンジンが掛かつた状態で動いていないのを確認する。タマネギの育苗ハウスを見終えて、自宅に戻る際に作業中の父の姿が見あたらず、除雪機側に行ってみた所、ハウス脇の排水溝上に溜まつていた雪を突き抜けて、仰向けに転倒し除雪機が胸部上部にて止まつた状態の父を発見し、午前11時39分に深川消防署へ電話する。救急車にて深川市立病院に搬送されるも、午後0時31分胸部外傷により死亡と診断された。	有	有

## 2. 平成28年度NHKラジオ放送用原稿（お知らせ版）

### I 春の農作業安全強調月間に係るNHKラジオ放送について

#### NHKラジオスポット放送

放送期間：平成28年5月1日～6月30日（朝5時55分頃）

「農作業事故を防ぐためのメモ」です。

北海道農作業安全運動推進本部では、農作業事故が多く発生する  
4月から6月を春の農作業安全運動強調月間に定めています。

- 北海道では、毎年、農作業中の事故が、およそ2,500件発生し、20人ほどの方が亡くなっています。その内、昨年は、トラクターの運転中に用水路に転落、トラクターの修理作業中、突然車体が動き出し下敷き、また、斜面で転倒するなどして6人の方が亡くなりました。これらの事故は、「慣れ」によるちょっとした油断が原因と考えられます。安全を十分に確認し、慎重な運転を心がけましょう。
- 機械の整備やゴミの除去など回転部分に手や体を近づけるときは、巻き込まれないよう、必ずトラクターや作業機のエンジンを止めてください。
- また、補助の作業者がいるときは、作業の前に機械の発進、緊急停止などの合図を決めてください。必ず合図により安全を確認してからエンジンを始動したり、機械を動かすことを習慣にしましょう。
- 緊急事態に備え、常に携帯電話を身につけておきましょう。

なお、労災保険の加入などについては、最寄りのJAや、北海道農作業安全運動推進本部におたずね下さい。

推進本部は、電話 011-232-8407 です。

## II 秋の農作業安全強調月間に係るＮＨＫラジオ放送について

1 放送期間：平成28年9月1日～平成28年10月31日  
(番組間の不定期スポット放送)

### 2 放送内容

- 北海道では、毎年、農作業中の事故が、およそ2,500件発生し、そのうち、およそ20人近くの方が亡くなっています。  
特に、収穫の秋を迎えたこの時期は事故が発生しやすくなります。
- 収穫用の機械への「巻きこまれ防止」のため、袖口が締まった服を着用して回転部分に触れないよう、注意してください。  
また、首に巻いたタオルは上着の中に入れましょう。
- 補助作業者が機械にひかれる事故も発生しています。  
機械を運転する人は、作業の前に機械の発進、停止などの合図を決めてください。  
作業を焦らず、ひとつひとつ合図により安全を確認してからエンジンを始動したり、機械を動かすことを習慣にしましょう。
- 秋が深まるにつれて雨や霜によって地面が滑りやすくなります。  
トラクターは、スピードを落として運転してください。
- また、日没が早まります。機械の照明を早めに点灯し、後方の車両が気付きやすいよう、「低速車マーク」「反射シール」などを取り付けてください。  
  
なお、労災保険の加入などについては、最寄りのＪＡや、北海道農作業安全運動推進本部におたずね下さい。  
推進本部は、電話 011-232-8407 です。

## 北海道農作業安全運動推進本部構成会員

(順不同)

北 海 道	北海道農業機械工業会
J A 北海道中央会	(株) 北海道クボタ
J A 北海道信連	(株) エセキ北海道
ホ ク レ ン	ヤンマーアグリジャパン(株)
J A 共済連北海道	三菱農機販売(株)
J A 北海道厚生連	日本ニュー ホランド(株)
北海道農業公社	エム・エス・ケー農業機械(株)
北海道N O S A I	北海道農機商業協同組合

### 平成28年度 農作業事故報告書

発行 平成29年8月

発行者 北海道農作業安全運動推進本部  
本部長 柴田倫宏  
〒060-0005  
札幌市中央区北5条西6丁目1-23  
(北海道農業公社内)  
TEL/FAX(011)232-8407  
Email: agr-anzen@vega.ocn.ne.jp